

科目名 (英)	キャリアプランニングⅡ (スポーツマネジメントⅠ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	上野唯
	(Sports Management I)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 木曜4限
学科・コース	プロスポーツトレーナー科						
教員の略歴	仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツのビジネス的な側面を学び 主にフィットネスクラブのマネジメントについて学習する。 資格取得にあたってはフィットネスクラブマネジメント検定3級合格を目指す。						
到達目標	①フィットネス産業について説明できる ②クラブ運営について把握している ③顧客マネジメントについて実践できる						
評価方法と基準	1)出席数75% 2)定期テスト25%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	フィットネス産業について説明できる	ノートをまとめる
2		講義	フィットネス産業について説明できる	ノートをまとめる
3		講義	健康づくりについて説明できる①	ノートをまとめる
4		講義	健康づくりについて説明できる②	ノートをまとめる
5		講義	店舗運営・フロント業務について実践できる	ノートをまとめる
6		講義	店舗運営・ジム。スタジオ。プール運営について実践	ノートをまとめる
7		講義	店舗運営・イベント企画について企画できる	ノートをまとめる
8		講義	総合クラブの施設内容について説明できる	ノートをまとめる
9		講義	顧客対応について実践できる①	ノートをまとめる
10		講義	顧客対応について実践できる②	ノートをまとめる
11		講義	組織・業務分担の考え方について説明できる	ノートをまとめる
12		講義	コミュニケーションの重要性について答えられる	ノートをまとめる
13		講義	学習した内容について答えられる	ノートをまとめる
14		試験	学習した内容の問題に答えられる	
15		講義	学習した内容の問題に答えられる	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
一般社団法人日本フィットネス産業協会:フィットネスクラブマネジメント 公式テキスト基礎				

科目名 (英)	キャリアプランニング I	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	太田充保
	(Career Panning I)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 火曜1限
学科・コース	プロスポーツトレーナー科						
教員の略歴	仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	就職活動について目的や方法が説明できる。 自己分析ができ、自分の理想的な就職を見出すことができる。 求人票や就職ナビ、その他から就職の情報を得ることができる。 企業に電話を正しいマナーでかけることができる。 インターンシップに参加する上で必要な準備ができる。						
到達目標	就職活動の概要が説明できる。 自分の理想的な就職先を自分で見つけることできる。 見つけた就職先についてあらゆる手段を利用して情報収集を行ったり、電話や手紙などで連絡をとり見学や実習のお願い・お礼などをすることができる。 インターンシップに必要な準備をすることができる。						
評価方法と基準	1) 出席状況60% 2) 提出物40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	就職活動の流れが説明できる	学んだことを振り返る
2		講義	自己分析ができる	学んだことを振り返る
3		講義	自己分析ができる	学んだことを振り返る
4		演習	業界研究ができる	学んだことを振り返る
5		演習	業界研究ができる	学んだことを振り返る
6		演習	求人票、就職ナビを見て就職活動ができる	学んだことを振り返る
7		演習	求人票、就職ナビを見て就職活動ができる	学んだことを振り返る
8		講義	会社への電話で問い合わせることができる	学んだことを振り返る
9		講義	会社への電話で問い合わせることができる	学んだことを振り返る
10		講義	インターンシップの流れ、手順について説明ができる	学んだことを振り返る
11		講義	インターンシップの流れ、手順について説明ができる	学んだことを振り返る
12		演習	インターンシップのノートを正しく書くことができる	学んだことを振り返る
13		演習	インターンシップのノートを正しく書くことができる	学んだことを振り返る
14		演習	インターンシップの準備(持ち物、身だしなみ、身構え、心構え)ができる	学んだことを振り返る
15		演習	インターンシップの準備(持ち物、身だしなみ、身構え、心構え)ができる	学んだことを振り返る
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	パソコンスキルⅡ (コンピュータⅡ) (ComputerⅡ)		必修 選択	必修・選択必修・選択等	年次	2	担当教員	阿部 かざみ
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 月曜・4限
教員の略歴	Word・Excel・PowerPointの操作方法を専門学校・PCスクール・企業研修・就職支援などで指導							
授業の学習内容	プレゼンテーションツールのPowerPointをの内容の組み立て方、作成手順、資料の探し方などを学習し、他人に自分の考えを伝える効果的な方法を学ぶ。 また、学会での発表用のみではなく、提案事項・会議用ツール・ポスター作成などに活用できる必要なパソコンスキルを学ぶ。							
到達目標	PowerPointの基本操作、プレゼンテーションの流れを自分で組み立て、見栄えのするスライドを作成し、人にわかりやすく伝わる発表技術を身に付け、資料作成・学会発表用ツールとして使用できるレベルを目指す							
評価方法と基準	実技試験30% 課題提出40% 出席点15% 平常点5%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	スライドの基本操作やテーマを設定できる	準備学習 Word・Excelで行った、グラフィックス機能、表作成、グラフ作成などができる方が望ましい 学習課題 積み重ね授業になるので、授業終了後は復習をし、確実に次の時間に活かせることが望ましい
2		演習	スライド内で表やグラフを活用できる	
3		演習	Web上の画像やグラフィックスを扱える	
4		演習	アニメーション効果をかけられる	
5		演習	プリントを参考にスライドを作成する	
6		演習	自己紹介PPを作成する	
7		演習	自己紹介PPを作成する	
8		演習	プレゼンテーションを発表できる	
9		演習	プレゼンテーションを発表できる	
10		演習	プレゼンテーションを発表できる	
11		演習	PPのプレゼン以外の使用方法を学習する	
12		演習	その他のPP機能を学ぶ	
13		演習	課題作品作成	
14		試験	課題作品作成	
15		演習	課題作品作成	
準備学習 時間外学習			パソコン操作に慣れるためにも時間外にも報告書・課題などパソコンを使用して作成してほしい	
【使用教科書・教材・参考書】 滋慶出版社 PowerPoint2016				

科目名 (英)	社会学 (スポーツ社会学) (Sociology of Sports)		必修 選択	必修	年次	2	担当教員	沼田 尚
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 金曜2限
教員の略歴	山形大学大学院教育学研究科修了、健康運動指導士 JATI-ATI							
授業の学習内容	スポーツ指導者は「コーチング」について正しく理解することで、スポーツ実践者(プレーヤー)のニーズを満たす支援ができる。この授業では、スポーツが人々や社会にどのような影響をもたらすのか、その意義と価値について考える。また、スポーツ権について理解し、スポーツ権を害さないスポーツ指導に必要な知識を身につける。さらにスポーツに関する法令やルール、フェアプレーについて学ぶ。							
到達目標	リファレンスブックに記載される「コーチングを理解しよう」の6～13の内容について説明ができる。 そして、日本スポーツ協会のオンラインテストに合格できる。							
評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> 筆記試験(80%)…各項目における、知識の理解度を評価する。 受講態度(20%)…出席状況と授業への取り組む姿勢・態度など。 課題レポート…適宜レポートの提出を求めることもある。 							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	スポーツの意義と価値① トレーニング指導者の役割	テキストを読んで内容をまとめておくこと
2		講義	スポーツの意義と価値② トレーニング指導者の役割	テキストを読んで内容をまとめておくこと
3		講義	スポーツの意義と価値③ トレーニング指導者の役割	テキストを読んで内容をまとめておくこと
4		講義	スポーツの価値を守るスポーツ権	テキストを読んで内容をまとめておくこと
5		講義	スポーツの自治 ガバナンスとコンプライアンス	テキストを読んで内容をまとめておくこと
6		講義	暴力・ハラスメントの根絶①	テキストを読んで内容をまとめておくこと
7		講義	暴力・ハラスメントの根絶②	テキストを読んで内容をまとめておくこと
8		講義	スポーツのインテグリティ	テキストを読んで内容をまとめておくこと
9		講義	スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任 ①	テキストを読んで内容をまとめておくこと
10		講義	スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任 ②	テキストを読んで内容をまとめておくこと
11		講義	スポーツ仲裁	テキストを読んで内容をまとめておくこと
12		講義	スポーツ倫理	テキストを読んで内容をまとめておくこと
13		講義	スポーツ組織のマネジメント トレーニングの運営と情報活用	テキストを読んで内容をまとめておくこと
14		講義	障がい者とスポーツ	テキストを読んで内容をまとめておくこと
15		試験	学習した内容の問題に答えられる	試験に備えて、全ての項目を復習する
準備学習 時間外学習			テキスト及び配布資料を読んで内容をまとめておくこと	
【使用教科書・教材・参考書】				
リファレンスブック トレーニング指導者テキスト実践編				

科目名 (英)	エクササイズ基礎Ⅱ (アクアエクササイズⅡ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	金森千穂
	(Aquatic Exercise Ⅱ)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期 月曜1限
学科・コース	プロスポーツトレーナー科						
教員の略歴	JAFA-GFIエグゼクティブ シナプソロジーアドバンス教育トレーナー 介護予防運動指導員 バランスコーディネーション教育トレーナー 健康運動実践指導者						
授業の学習内容	水の特性を説明できる。水を意識した動作表現ができる。 水中運動時の安全で効果的な運動強度が説明できる。 アクアビクスの指導で、音取り、インストラクションができる。						
到達目標	水中の有酸素運動として注目されるアクアビクスの実際とその特性を理解し、基本的指導法を学ぶ。						
評価方法と基準	1) 筆記試験30% 2) 実技試験30% 3) 出席状況40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	アクアビクス体験、水中ウォーキング体験① 音取り練習、バーバル・ビジュアル	学んだことを振り返る
2		演習	アクアビクス体験、水中ウォーキング体験② 音取り、バーバル・ビジュアル、ビジュアルレビュー	学んだことを振り返る
3		演習	音取り① テスト、基本動作の確認、強度の変換要素 プールサイドで動く練習	学んだことを振り返る
4		演習	音取り② 基本動作の確認、強度の変換要素、グループ練習 プールサイドで動く練習	学んだことを振り返る
5		演習	音取り⑤ グループ練習 観察・修正・賞賛 アクアエクササイズ理論	学んだことを振り返る
6		演習	音取り⑥ グループ練習 アクアエクササイズ理論	学んだことを振り返る
7		演習	筆記試験	学んだことを振り返る
8		演習	実技試験	学んだことを振り返る
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 健康運動実践指導者養成用テキスト アクアエクササイズ指導理論				

科目名 (英)	外国語 I (グローバルコミュニケーション) (Global Communication)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	MARK ZOLOTAR
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	2013年カナダヒクトリア大学修士課程修了、その後日本の英会話教室、専門学校等でこどもから大人までの英語授業を担当。 2018年英会話教室を開業(CFO)、現在は自身の英会話教室と合わせて、ILCに所属する英会話講師。						
授業の学習内容	将来、多国籍の人々と仕事をするために、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解する「グローバルマインド」と「コミュニケーション力」を兼ね備える。 総合的な英語力①Listening(リスニング力)②Writing(筆記力)③Reading(読解力)④Speaking(会話力)を身につける。 週1回2コマ実施						
到達目標	リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。						
評価方法と基準	定期試験(全4回) 100% CEFR Level A2						

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1		演習	be動詞、代名詞の所有格を使って、知人・家族について話す 「～のもの」を表す表現を使って、所有物について話す		教科書の予習・復習	
2		演習	挨拶をして会話を始める練習をする 興味や驚きを表す表現を練習する 自己紹介をする/職場でのフォーマルなEメールを読む、書く		教科書の予習・復習	
3		演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「人と共通していることについて」 [Wh-question]を練習する 一般動詞の疑問文、否定文を使って、習慣・ルーティンについて質問する、返答する		教科書の予習・復習	
4		演習	指示代名詞を使って、仕事や勉強をする空間について話す・質問する 意思疎通に問題があったことを説明する 繰り返しを求める表現を練習する		教科書の予習・復習	
5		演習	ポッドキャストについての意見を読む、書く ロールプレイ・プレゼンテーション「仕事や勉強のためのアプリについて」		教科書の予習・復習	
6		演習	「現在進行形」を使って、今まさに起こっていることについて話す 「現在進行形」「現在形」を練習する スポーツ、運動について話す		教科書の予習・復習	
7		演習	知らない情報を人に尋ねたり、情報を読み取ったりできるよう、会話を練習する サービスや会社に対するコメントを読む、書く		教科書の予習・復習	
8		演習/試験	「現在進行形」を使って、これから予定している計画について話す ロールプレイ・プレゼンテーション「フィットネスプログラムを作る」 定期試験/振り返り		教科書の予習・復習	
9		演習	目的格代名詞を使って、人に物をプレゼントする会話を練習する 誰かを誘う、人から誘われた際の会話を練習する 誘いを断る理由を説明する		教科書の予習・復習	
10		演習	未来のイベント案内を読む、書く イベントを企画してアナウンスメントする ロールプレイ・プレゼンテーション「プレゼントを選ぶ」		教科書の予習・復習	
11		演習	過去の出来事について話す/質問する 自分の意見を述べる;自分の気持ちを相手に伝える 過去形の疑問文、否定文を練習する		教科書の予習・復習	
12		演習	適切な英語表現を用いて、相手を祝ったり、慰めたりする会話を練習する 自分の認識が正しいかどうかを確認する 投稿に対して、賛成・反対のコメントを書く		教科書の予習・復習	
13		演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「過去の有名な出来事をまとめる」 [be going to]を使って、買い物に行くことについて会話する		教科書の予習・復習	
14		演習	特定・不特定の物や人の数量を表し、買い物習慣について話す お店で買いたい物、探している物を伝える会話を練習する 物事の言い方を英語で聞く		教科書の予習・復習	
15		演習/試験	新しい商品の説明を読む、Vlog(ビデオブログ)のためのスクリプトを書く プレゼンテーション 定期試験/振り返り		教科書の予習・復習	

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16		演習	数量詞を使って、一番好きな食べ物について話す 食品の味や調理方法について話す 動名詞とto不定詞を使った会話を練習する	教科書の予習・復習
17		演習	[I mean]を使って、会話を練習する 飲食店で料理を注文する会話を練習する オンライン記事の内容を読み、自分の意見をコメントをする	教科書の予習・復習
18		演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「パーティを計画する」 自分の町で何をするのかについて話す	教科書の予習・復習
19		演習	[to / for]を使って、理由を説明する/過去に行った旅行について話す 適切なアドバイスや提案する会話を練習する アドバイスに対する反応を練習する	教科書の予習・復習
20		演習	海外旅行・生活についてのアドバイスを読む、書く ロールプレイ・プレゼンテーション「短期旅行のプランを立てる」	教科書の予習・復習
21		演習	いろいろな物を比較する会話を練習する [形容詞の最上級]を使って、写真に写った人について話す	教科書の予習・復習
22		演習	[I guess]を使って、アドバイスを相手に求める、またはアドバイスをする会話を練習する 写真についての説明を読む、書く	教科書の予習・復習
23		演習/試験	ロールプレイ・プレゼンテーション「広告を作り、発表する」 仕事でどのように危険を避けるかを話し合う 定期試験/振り返り	教科書の予習・復習
24		演習	これから先のことについて、適切に表現できるよう、練習する [It feels like (it's like)]を使って、体調不良や怪我の症状などについて話す	教科書の予習・復習
25		演習	将来の自分に向けたメッセージを読む、書く ロールプレイ・プレゼンテーション「リアリティ番組を計画する」	教科書の予習・復習
26		演習	今までに経験したことや経験したことのないことについて話し合う ソーシャルメディアについての内容を読む、話す、質問する	教科書の予習・復習
27		演習	誰かに頼み事をしたり、許可を得ることができるよう、練習する または、その反応をする表現を練習する インフォグラフィックを読む、コメントを書く	教科書の予習・復習
28		演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「ビデオ、またBlogを作る」 [be like]を使って、天気について話す	教科書の予習・復習
29		演習	関係代名詞を使って、場所、人、物事を説明する 道を尋ねる、また道を聞かれた時に答える会話を練習する	教科書の予習・復習
30		演習/試験	簡単な指示文を書く プレゼンテーション 定期試験/振り返り	教科書の予習・復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
Evolve2				

科目名 (英)	資格検定対策Ⅱ (Preparation for Certificatons Ⅱ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界で活躍するためには、スポーツの専門的な知識・技能や、ビジネススキル、ヒューマンスキルが必要である。それらを身につけていくために、各専門的な協会や団体が認定する資格の取得を目指している。スポーツ業界での仕事は多種多様であり、活躍できる分野も幅広い。自分にとってどのような資格が必要かを考え、合格に向けて主体的に取り組むことができる。						
到達目標	1) 自分に必要な資格が何かを考えることができる 2) 目指す資格取得のためにどのような能力が必要か説明することができる 3) 目指す資格取得のための勉強計画ができる 4) 目指す資格取得ができる						
評価方法と基準	1) 小テスト 20% 2) 筆記・実技テスト 30% 3) 提出物・課題 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	演習	オリエンテーション	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
2	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
3	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
4	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
5	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
6	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
7	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
8	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
9	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
10	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
11	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
12	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
13	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
14	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
15	／	演習	試験	授業内で学んだことをまとめる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	資格検定対策Ⅱ (Preparation for Certificatons Ⅱ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界で活躍するためには、スポーツの専門的な知識・技能や、ビジネススキル、ヒューマンスキルが必要である。それらを身につけていくために、各専門的な協会や団体が認定する資格の取得を目指している。スポーツ業界での仕事は多種多様であり、活躍できる分野も幅広い。自分にとってどのような資格が必要かを考え、合格に向けて主体的に取り組むことができる。						
到達目標	1) 自分に必要な資格が何かを考えることができる 2) 目指す資格取得のためにどのような能力が必要か説明することができる 3) 目指す資格取得のための勉強計画ができる 4) 目指す資格取得ができる						
評価方法と基準	1) 小テスト 20% 2) 筆記・実技テスト 30% 3) 提出物・課題 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
17	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
18	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
19	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
20	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
21	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
22	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
23	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
24	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
25	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
26	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
27	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
28	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
29	／	演習	前回の振り返り 資格取得計画 小テスト 資格合格のための実践・練習 課題の確認	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
30	／	演習	試験	授業内で学んだことをまとめる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	特別講義Ⅱ (Special LectureⅡ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	各業界講師 (担当:藤村)
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界は時代の経過とともに日々進化している。そのスポーツ業界で即戦力として活躍するためには、常に最先端の情報を得ることが求められる。産学連携教育の一貫として、業界の最先端で活躍している企業やプロの講師から業界の話やこれから身につけてくべきスキルについて学ぶ。						
到達目標	1) 今の業界の流れ・仕組みが説明できる 2) 今の業界で求められるスキルが説明できる 3) 1),2)の上で、自分が今後どうすべきかを計画し、説明することができる						
評価方法と基準	1) 事前・事後課題の提出 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
2	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
3	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
4	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
5	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
6	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
7	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
8	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
9	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
10	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
11	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
12	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
13	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
14	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
15	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	特別講義Ⅱ (Special LectureⅡ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	各業界講師 (担当:藤村)
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界は時代の経過とともに日々進化している。そのスポーツ業界で即戦力として活躍するためには、常に最先端の情報を得ることが求められる。産学連携教育の一貫として、業界の最先端で活躍している企業やプロの講師から業界の話やこれから身につけてくべきスキルについて学ぶ。						
到達目標	1) 今の業界の流れ・仕組みが説明できる 2) 今の業界で求められるスキルが説明できる 3) 1),2)の上で、自分が今後どうすべきかを計画し、説明することができる						
評価方法と基準	1) 事前・事後課題の提出 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
17	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
18	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
19	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
20	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
21	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
22	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
23	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
24	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
25	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
26	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
27	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
28	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
29	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
30	／	演習	今の業界での流れ・仕組み・求められる知識・技能 今後についての考察、説明	学んだことをノートにまとめる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	ワークショップⅡ (WorkshopⅡ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界の仕事は多種多様である。そのため現場で活躍するためには幅広い学びが必要である。この授業ではこれまで受講してきた内容をさらに体験的に学習したり、グループ学習を通してディスカッションしたり、発表したりなど知識を得るだけでなくアウトプットを中心に実践力を高めながら展開する。 ひとり一人目指す現場で求められるスキルが大きく異なるため、自分にとって何が課題かを考えながら、スキル習得のための計画を立て、実践を繰り返していく。						
到達目標	1) 日々の授業で学んだことを整理し、ポイントについて説明することができる 2) 自分が目指す業界に必要なスキルについて説明することができる 3) 2)のスキルを向上させるための学習についてPDCAすることができる						
評価方法と基準	1) 自分に必要なスキルの向上に向けたPDCAができているかを評価 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
2	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
3	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
4	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
5	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
6	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
7	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
8	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
9	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
10	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
11	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
12	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
13	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
14	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
15	／	演習	まとめ・評価	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	ワークショップⅡ (WorkshopⅡ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界の仕事は多種多様である。そのため現場で活躍するためには幅広い学びが必要である。この授業ではこれまで受講してきた内容をさらに体験的に学習したり、グループ学習を通してディスカッションしたり、発表したりなど知識を得るだけでなくアウトプットを中心に実践力を高めながら展開する。 ひとり一人目指す現場で求められるスキルが大きく異なるため、自分にとって何が課題かを考えながら、スキル習得のための計画を立て、実践を繰り返していく。						
到達目標	1) 日々の授業で学んだことを整理し、ポイントについて説明することができる 2) 自分が目指す業界に必要なスキルについて説明することができる 3) 2)のスキルを向上させるための学習についてPDCAすることができる						
評価方法と基準	1) 自分に必要なスキルの向上に向けたPDCAができているかを評価 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
17	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
18	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
19	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
20	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
21	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
22	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
23	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
24	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
25	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
26	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
27	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
28	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
29	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
30	／	演習	まとめ・評価	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	ワークショップⅡ (WorkshopⅡ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界の仕事は多種多様である。そのため現場で活躍するためには幅広い学びが必要である。この授業ではこれまで受講してきた内容をさらに体験的に学習したり、グループ学習を通してディスカッションしたり、発表したりなど知識を得るだけでなくアウトプットを中心に実践力を高めながら展開する。 ひとり一人目指す現場で求められるスキルが大きく異なるため、自分にとって何が課題かを考えながら、スキル習得のための計画を立て、実践を繰り返していく。						
到達目標	1) 日々の授業で学んだことを整理し、ポイントについて説明することができる 2) 自分が目指す業界に必要なスキルについて説明することができる 3) 2)のスキルを向上させるための学習についてPDCAすることができる						
評価方法と基準	1) 自分に必要なスキルの向上に向けたPDCAができているかを評価 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
31	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
32	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
33	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
34	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
35	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
36	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
37	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
38	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
39	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
40	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
41	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
42	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
43	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
44	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
45	／	演習	まとめ・評価	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	ワークショップⅡ (WorkshopⅡ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界の仕事は多種多様である。そのため現場で活躍するためには幅広い学びが必要である。この授業ではこれまで受講してきた内容をさらに体験的に学習したり、グループ学習を通してディスカッションしたり、発表したりなど知識を得るだけでなくアウトプットを中心に実践力を高めながら展開する。 ひとり一人目指す現場で求められるスキルが大きく異なるため、自分にとって何が課題かを考えながら、スキル習得のための計画を立て、実践を繰り返していく。						
到達目標	1) 日々の授業で学んだことを整理し、ポイントについて説明することができる 2) 自分が目指す業界に必要なスキルについて説明することができる 3) 2)のスキルを向上させるための学習についてPDCAすることができる						
評価方法と基準	1) 自分に必要なスキルの向上に向けたPDCAができているかを評価 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
46	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
47	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
48	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
49	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
50	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
51	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
52	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
53	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
54	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
55	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
56	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
57	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
58	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
59	／	演習	課題の確認 本日と今後の学習計画 実践・練習・発表 振り返り 次回の目標	授業内で学んだことをまとめ、次回までに振り返る
60	／	演習	まとめ・評価	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	ゼミⅡ (Seminar Ⅱ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	各業界講師 (担当: 藤村)
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界での仕事は多種多様で幅広い。多くのことを経験し、多くの知識・技能を身につけることは現場で活躍していく上で大切である。その一方で現場では高いスキルも求められる。自分がやりたい仕事現場で、一層活躍していくためにはひとつ一つの学びをさらに自ら深めていく必要である。この授業では、自分に必要なテーマ・課題について学生が主体となって集まり、グループで考えたり、討論、発表しながら知識・技能を深めていく。						
到達目標	1) 自分に必要な知識・技能について考え、学ぶことへ興味・関心を抱きそれを説明することができる 2) 自分が活躍していく業界や現場での問題点や課題についてグループで考え、意見をまとめ、発表することができる						
評価方法と基準	1) グループワークの取り組み(意欲関心態度) 50% 2) 提出物 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
2	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
3	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
4	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
5	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
6	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
7	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
8	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
9	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
10	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
11	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
12	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
13	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
14	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
15	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	ゼミⅡ (Seminar Ⅱ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	各業界講師 (担当: 藤村)
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界での仕事は多種多様で幅広い。多くのことを経験し、多くの知識・技能を身につけることは現場で活躍していく上で大切である。その一方で現場では高いスキルも求められる。自分がやりたい仕事現場で、一層活躍していくためにはひとつ一つの学びをさらに自ら深めていく必要である。この授業では、自分に必要なテーマ・課題について学生が主体となって集まり、グループで考えたり、討論、発表しながら知識・技能を深めていく。						
到達目標	1) 自分に必要な知識・技能について考え、学ぶことへ興味・関心を抱きそれを説明することができる 2) 自分が活躍していく業界や現場での問題点や課題についてグループで考え、意見をまとめ、発表することができる						
評価方法と基準	1) グループワークの取り組み(意欲関心態度) 50% 2) 提出物 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
17	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
18	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
19	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
20	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
21	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
22	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
23	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
24	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
25	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
26	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
27	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
28	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
29	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
30	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	ゼミⅡ (Seminar Ⅱ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	各業界講師 (担当: 藤村)
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界での仕事は多種多様で幅広い。多くのことを経験し、多くの知識・技能を身につけることは現場で活躍していく上で大切である。その一方で現場では高いスキルも求められる。自分がやりたい仕事現場で、一層活躍していくためにはひとつ一つの学びをさらに自ら深めていく必要である。この授業では、自分に必要なテーマ・課題について学生が主体となって集まり、グループで考えたり、討論、発表しながら知識・技能を深めていく。						
到達目標	1) 自分に必要な知識・技能について考え、学ぶことへ興味・関心を抱きそれを説明することができる 2) 自分が活躍していく業界や現場での問題点や課題についてグループで考え、意見をまとめ、発表することができる						
評価方法と基準	1) グループワークの取り組み(意欲関心態度) 50% 2) 提出物 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
31	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
32	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
33	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
34	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
35	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
36	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
37	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
38	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
39	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
40	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
41	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
42	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
43	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
44	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
45	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	ゼミⅡ (SeminarⅡ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	各業界講師 (担当:藤村)
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ業界での仕事は多種多様で幅広い。多くのことを経験し、多くの知識・技能を身につけることは現場で活躍していく上で大切である。その一方で現場では高いスキルも求められる。自分がやりたい仕事現場で、一層活躍していくためにはひとつ一つの学びをさらに自ら深めていく必要である。この授業では、自分に必要なテーマ・課題について学生が主体となって集まり、グループで考えたり、討論、発表しながら知識・技能を深めていく。						
到達目標	1) 自分に必要な知識・技能について考え、学ぶことへ興味・関心を抱きそれを説明することができる 2) 自分が活躍していく業界や現場での問題点や課題についてグループで考え、意見をまとめ、発表することができる						
評価方法と基準	1) グループワークの取り組み(意欲関心態度) 50% 2) 提出物 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
46	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
47	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
48	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
49	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
50	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
51	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
52	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
53	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
54	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
55	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
56	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
57	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
58	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
59	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
60	／	演習	自分に必要な知識・技能についてグループで学ぶ(課題、討論、まとめ、発表)	学んだことや気づきをまとめる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	データ分析Ⅱ	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
	(Data AnalyticsⅡ)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 集中
学科・コース	プロスポーツトレーナー						
教員の略歴	2006年4月～2007年12月までフィットネスクラブに所属 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ選手のパフォーマンスの向上や、チームの戦術などにテクノロジーが使用されている。またそれは日々改善され、道具の開発も進んでいる。スポーツ業界で活躍する上では、スポーツとテクノロジーの関連についての感性を磨くことが大切である。この授業では、現在現場で使用されているテクノロジーに触れ、その使用方法を学んだり、それらをどう生かしていくかを考える。また、それらの活用でわかる各データを分析し、さらに改善していくためには何が必要かを考える力を身に付けていく。						
到達目標	スポーツ現場で使用している分析ソフトウェアについて 1) 概要を説明できる 2) 準備・使用ができる 3) 使用方法について人に説明できる 4) 対象へ測定・記録などができる 5) 測定したデータについて自分の考えが説明できる 6) 5)についてグループで意見交換し、考えをまとめ発表ができる						
評価方法と基準	1)課題提出・発表 100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		演習	機器の概要		資料まとめ
2		演習	機器の概要		資料まとめ
3		演習	準備・設置		資料まとめ
4		演習	準備・設置		資料まとめ
5		演習	測定方法		資料まとめ
6		演習	測定方法		資料まとめ
7		演習	測定方法		資料まとめ
8		演習	記録・数値・分析		資料まとめ
9		演習	記録・数値・分析		資料まとめ
10		演習	グループ実践 発表		資料まとめ
11		演習	グループ実践 発表		資料まとめ
12		演習	グループ実践 発表		資料まとめ
13		演習	グループ実践 発表		資料まとめ
14		演習	グループ実践 発表		資料まとめ
15		演習	グループ実践 発表		資料まとめ
準備学習		時間外学習			
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名 (英)	データ分析Ⅱ (Data AnalyticsⅡ)	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
	学科・コース プロスポーツトレーナー	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 集中
教員の略歴	2006年4月～20017年12月までフィットネスクラブに所属 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ選手のパフォーマンスの向上や、チームの戦術などにテクノロジーが使用されている。またそれは日々改善され、道具の開発も進んでいる。スポーツ業界で活躍する上では、スポーツとテクノロジーの関連についての感性を磨くことが大切である。この授業では、現在現場で使用されているテクノロジーに触れ、その使用方法を学んだり、それらをどう生かしていくかを考える。また、それらの活用でわかる各データを分析し、さらに改善していくためには何が必要かを考える力を身に付けていく。						
到達目標	スポーツ現場で使用している分析ソフトウェアについて 1) 概要を説明できる 2) 準備・使用ができる 3) 使用方法について人に説明できる 4) 対象へ測定・記録などができる 5) 測定したデータについて自分の考えが説明できる 6) 5)についてグループで意見交換し、考えをまとめ発表ができる						
評価方法と基準	1)課題提出・発表 100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		演習	機器の概要		資料まとめ
2		演習	機器の概要		資料まとめ
3		演習	準備・設置		資料まとめ
4		演習	準備・設置		資料まとめ
5		演習	測定方法		資料まとめ
6		演習	測定方法		資料まとめ
7		演習	測定方法		資料まとめ
8		演習	記録・数値・分析		資料まとめ
9		演習	記録・数値・分析		資料まとめ
10		演習	グループ実践 発表		資料まとめ
11		演習	グループ実践 発表		資料まとめ
12		演習	グループ実践 発表		資料まとめ
13		演習	グループ実践 発表		資料まとめ
14		演習	グループ実践 発表		資料まとめ
15		演習	グループ実践 発表		資料まとめ
準備学習		時間外学習			
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名 (英)	スポーツセンシング I	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	佐藤文彦
	(Sports Sensing I)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 曜日・時限 金曜・4,5限
学科・コース	プロスポーツトレーナー科						
教員の略歴	株式会社DELTA パートナーアナリスト						
授業の学習内容	<p>セイバーメトリクスの入門的内容として、成立から現代までの発展の歴史を学びます。セイバーメトリクスというと、OPSやFIP、wOBA等々の近年になって開発された新しい指標をイメージする人が多いです。これらもセイバーメトリクスの成果であり産物ではありますが、授業ではこうした指標が生まれた過程を理解することに重点を置きます。</p> <p>また、「こういうことが新たに分かった」というセイバーメトリクスの知見をただ覚えるのではなく、根拠となったデータを見て理解できるようになることを目標とします。</p> <p>そして、オープンになっている野球のデータを利用し、指標の計算や必要に応じた作図ができるようになることを目指します。</p>						
到達目標	<p>目標①セイバーメトリクスの成立から現代までの発展の過程を理解する</p> <p>目標②セイバーメトリクスの発展によってもたらされた知見を覚えるのではなく、根拠となるデータを見てその意味を理解できるようになる</p> <p>目標③野球のデータを利用し、指標の計算や必要に応じた作図ができるようになる</p>						
評価方法と基準	1) 提出物 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	セイバーメトリクスを学ぶ	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
2		演習	野球の一般原理①:ピタゴラス勝率・得点期待値・得点価値	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
3		演習	野球の一般原理②:野球のセオリーの見直し	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
4		演習	野球の一般原理③:野球を取り巻く環境の影響	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
5		演習	成績を予測する	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
6		演習	野球のデータを利用する	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
7		演習	選手の評価①:選手を評価するということ	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
8		演習	選手の評価②:打撃・投球	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
9		演習	選手の評価③:守備・走塁	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
10		演習	選手の評価④:総合評価	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
11		演習	選手の評価⑤:選手を評価を視覚的に表現する	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
12		演習	近年のトレンド①:トラッキングデータの導入	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
13		演習	近年のトレンド②:トラッキングデータがもたらしたもの	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
14		演習	近年のトレンド③:Baseball Savantの使い方	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
15		演習	セイバーメトリクスのこれから	講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深める
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
教科書:セイバーメトリクス入門 脱常識で野球を科学する, 蛭川皓平(著), 岡田友輔(監修), 水曜社				
関連図書:[プロ野球でわかる!]はじめての統計学, 株式会社DELTA 佐藤 文彦/student(著), 岡田 友輔(監修), 技術評論社				

科目名 (英)	スポーツセンシング II	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
	(Sports Sensing I)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 集中
学科・コース	プロスポーツトレーナー科						
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員						
授業の学習内容	スポーツ現場では、テクノロジーを使用した測定・分析・評価が行われ、選手のパフォーマンス向上やチームの勝利に活かされている。そしてその技術は日々進歩している。この授業ではその機器を活用し測定や分析・評価の知識・技術を身につけていく						
到達目標	スポーツ現場で使用されている専門的な分析ツールについて人に説明でき、現場で準備・測定ができる。 また、結果をもとに分析し、選手のパフォーマンス改善のための具体的なプランが説明できる。						
評価方法と基準	1) 提出物 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	分析ツールを使用 準備、測定	資料まとめ
2		演習	分析ツールを使用 準備、測定	資料まとめ
3		演習	分析ツールを使用 準備、測定	資料まとめ
4		演習	分析とプラン	資料まとめ
5		演習	分析とプラン	資料まとめ
6		演習	分析とプラン	資料まとめ
7		演習	分析ツールを使用 準備、測定	資料まとめ
8		演習	分析ツールを使用 準備、測定	資料まとめ
9		演習	分析ツールを使用 準備、測定	資料まとめ
10		演習	分析とプラン	資料まとめ
11		演習	分析とプラン	資料まとめ
12		演習	分析とプラン	資料まとめ
13		演習	まとめ	資料まとめ
14		演習	まとめ	資料まとめ
15		試験	まとめ	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	パフォーマンスⅡ (アスレティックリハビリテーションⅡ) (Athletic Rehabilitation Ⅱ)		必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	千葉渉
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 月曜・5限
教員の略歴	医療法人松田会 松田病院 理学療法士、日本スポーツ協会アスレティックトレーナー							
授業の学習内容	子どもから高齢者の健康維持の増進や、競技者の競技復帰において基盤となるアスレティックリハビリテーション、各療法の知識、技術を習得する。傷害別のアスレティックリハビリテーションプログラムの計画、立案、実践の方法を理解する。							
到達目標	①アスレティックリハビリテーションに必要な知識、技術を理解する ②傷害別アスレティックリハビリテーションプログラムの計画、立案ができるようになる ③傷害別アスレティックリハビリテーションプログラムを実践できるようになる							
評価方法と基準	1)定期試験60% 2)レポート10% 3)出席30%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	体幹部の解剖学的運動を理解する	体幹部の機能解剖をまとめる
2		演習	体幹部のアスレティックリハビリテーションを理解する	体幹部のアスレティックリハビリテーションをまとめる
3		演習	体幹部の関節可動域測定を理解する	体幹部の関節可動域測定の方法をまとめる
4		演習	体幹部のMMTを理解する	体幹部のMMTをまとめる
5		演習	まとめ	
6		演習	頸部の解剖学的運動を理解する	頸部の機能解剖をまとめる
7		演習	頸部のアスレティックリハビリテーションを理解する	頸部のアスレティックリハビリテーションをまとめる
8		演習	頸部の関節可動域測定を理解する	頸部の関節可動域測定の方法をまとめる
9		演習	頸部のMMTを理解する	頸部のMMTをまとめる
10		演習	まとめ	
11		演習	傷害別アスレティックリハビリテーションの計画立案①を理解する	体幹のアスレティックリハビリテーションのプログラミングと実践をまとめる
12		演習	傷害別アスレティックリハビリテーションの計画立案②を理解する	上肢のアスレティックリハビリテーションのプログラミングと実践をまとめる
13		演習	傷害別アスレティックリハビリテーションの計画立案③を理解する	下肢のアスレティックリハビリテーションのプログラミングと実践をまとめる
14		試験	定期試験	
15		演習	まとめ	
準備学習 時間外学習			授業の復習として各講義のポイントをまとめる	
【使用教科書・教材・参考書】				
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑦アスレティックリハビリテーション				

科目名 (英)	パフォーマンスⅡ (アスレティックリハビリテーションⅢ) (Athletic Rehabilitation Ⅲ)		必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	千葉渉
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 集中
教員の略歴	医療法人松田会 松田病院 理学療法士、日本スポーツ協会アスレティックトレーナー							
授業の学習内容	子どもから高齢者の健康維持の増進や、競技者の競技復帰において基盤となるアスレティックリハビリテーション、各療法の知識、技術を習得する。種目運動別のアスレティックリハビリテーションプログラムの計画、立案、実践の方法を理解する。							
到達目標	①アスレティックリハビリテーションに必要な知識、技術を理解する ②種目運動別アスレティックリハビリテーションプログラムの計画、立案ができるようになる ③種目運動別アスレティックリハビリテーションプログラムを実践できるようになる							
評価方法と基準	1)定期試験60% 2)レポート10% 3)出席30%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	受傷直後、急性期の対応を理解する	外傷の急性期の対応をまとめる
2		演習	亜急性期のアスレティックリハビリテーションを理解する	亜急性期のアスレティックリハビリテーションをまとめる
3		演習	慢性期初期のアスレティックリハビリテーションを理解する	慢性期初期のアスレティックリハビリテーションをまとめる
4		演習	慢性期中期のアスレティックリハビリテーションを理解する	慢性期中期のアスレティックリハビリテーションをまとめる
5		演習	慢性期後期のアスレティックリハビリテーションを理解する	慢性期後期のアスレティックリハビリテーションをまとめる
6		演習	機能回復期のアスレティックリハビリテーションを理解する	機能回復期のアスレティックリハビリテーションをまとめる
7		演習	オーバーユースによる傷害と対処を理解する	オーバーユースによる傷害と対処をまとめる
8		演習	種目運動別アスレティックリハビリテーションの実例①を理解する	陸上、水泳のアスレティックリハビリテーションの実例をまとめる
9		演習	種目運動別アスレティックリハビリテーションの実例②	サッカー、バスケットボールのアスレティックリハビリテーションの実例をまとめる
10		演習	種目運動別アスレティックリハビリテーションの実例③	バレーボール、ハンドボールのアスレティックリハビリテーションの実例をまとめる
11		演習	種目運動別アスレティックリハビリテーションの実例④	野球、ラグビーのアスレティックリハビリテーションの実例をまとめる
12		演習	種目運動別アスレティックリハビリテーションの実例⑤	格闘技、体操のアスレティックリハビリテーションの実例をまとめる
13		演習	種目運動別アスレティックリハビリテーションの実例⑥	スキー、スケートのアスレティックリハビリテーションの実例をまとめる
14		試験	定期試験	
15		演習	まとめ	
準備学習 時間外学習			授業の復習として各講義のポイントをまとめる	
【使用教科書・教材・参考書】				
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑦アスレティックリハビリテーション				

科目名 (英)	コンディショニングⅡ (コンディショニング理論演習Ⅱ) (Seminar of Strengthand ConditioningⅡ)		必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	早坂 ひとみ
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 木曜3限
教員の略歴	専門学校卒業後柔道整復師として勤務。柔道整復師・日本スポーツ協会アスレティックトレーナー JATI-AATI							
授業の学習内容	マシン、フリーウェイト、といったレジスタンストレーニング方法や正しい運動のフォームを理解し、人に説明や指導をすることができる。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング方法を習得する目的を理解する。 ・マシン、フリーウェイトを使ったレジスタンストレーニングの方法や正しい運動のフォームを理解し、指導できる。 							
評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記テスト ・実技 							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	トレーニング方法を習得する目的と目標を説明できる	学んだことを振り返る
2		演習	自体重およびチューブを利用した、トレーニングが実践できる①	学んだことを振り返る
3		演習	自体重およびチューブを利用した、トレーニングが実践できる②	学んだことを振り返る
4		演習	自体重およびチューブを利用した、トレーニングが実践できる③	学んだことを振り返る
5		演習	自体重およびチューブを利用した、トレーニングが実践できる④	学んだことを振り返る
6		演習	フリーウェイトを活用した各上肢および下肢の種目が説明・実践できる①	学んだことを振り返る
7		演習	フリーウェイトを活用した各上肢および下肢の種目が説明・実践できる②	学んだことを振り返る
8		演習	フリーウェイトを活用した各上肢および下肢の種目が説明・実践できる③	学んだことを振り返る
9		演習	フリーウェイトを活用した各上肢および下肢の種目が説明・実践できる④	学んだことを振り返る
10		演習	マシンを活用した上肢および下肢の種目が説明・実践できる①	学んだことを振り返る
11		演習	マシンを活用した上肢および下肢の種目が説明・実践できる②	学んだことを振り返る
12		演習	各トレーニング種目が説明・指導できる①	学んだことを振り返る
13		演習	各トレーニング種目が説明・指導できる②	学んだことを振り返る
14		試験	学習した内容の問題に答えられる	
15		演習	学習した内容の問題に答えられる	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
アスレティックトレーナー専門科目テキスト 予防とコンディショニング				

科目名 (英)	コンディショニングⅡ (トレーニング科学) (Training Science for Exercise and Sport)		必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	渡会稔
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 水曜・3限
教員の略歴	1999年日本スポーツ協会アスレティックトレーナー取得 2009年～2014年仙台大学 体育学部 体育学科 助教 プロバスケットボールチームトレーナーを歴任							
授業の学習内容	身体トレーニングは、目的、年齢により方法論が変わる。科学的根拠に基づく適切な運動プログラムの作成と指導方を学ぶ。							
到達目標	目的、年齢に応じた筋力トレーニングを生理学的知識をもとに計画することができる。							
評価方法と基準	1) 筆記試験100%							

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義	トレーニング総論について説明できる		講義の復習
2		講義	筋力トレーニングの効果とプログラム作成について説明できる		講義の復習
3		講義	パワー向上トレーニングの理論とプログラム作成について説明できる		講義の復習
4		講義	スピード向上トレーニングの理論とプログラムの作成について説明できる		講義の復習
5		講義	持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成について説明できる		講義の復習
6		講義	柔軟性向上トレーニング及びウォームアップとクールダウンの理論とプログラムの作成について説明できる		講義の復習
7		講義	特別な対象のためのトレーニングプログラム、傷害の受傷から復帰までのトレーニングプログラム作成と実際について説明できる		講義の復習
8		講義	筋力トレーニングの実際について説明できる		講義の復習
9		講義	パワー向上トレーニングの実際について説明できる		講義の復習
10		講義	持久力向上トレーニングの実際について説明できる		講義の復習
11		講義	スピード向上トレーニングの実際について説明できる		講義の復習
12		講義	柔軟性トレーニング及びウォームアップの実際について説明できる		講義の復習
13		講義	トレーニング効果の測定と評価の実際、測定データの活用とフィードバックの実際について説明できる		講義の復習
14		試験	学習した内容の問題に答えられる		自主採点
15		講義	学習した内容の問題に答えられる		試験内容の復習
準備学習 時間外学習			復習ノートの作成		
【使用教科書・教材・参考書】					
公認アスレティックトレーナー専門科目テキストスポーツ科学 フィットネス基礎理論 トレーニング指導者テキスト					

科目名 (英)	応用医学Ⅱ (救急処置法Ⅱ)	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	早坂ひとみ
	(Emergency Treatment and Lifesavin)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 木曜3限
学科・コース	プロスポーツトレーナー科						
教員の略歴	専門学校卒業後柔道整復師として勤務。柔道整復師・日本スポーツ協会アスレティックトレーナー JATI-AATI						
授業の学習内容	救急処置の目的と意義を理解し、説明ができる。 更に基礎的な救急処置を習得し、アスレティックトレーナーとしての役割を理解し、説明ができる。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 救急処置の基本的知識を理解する。 スポーツ現場における傷害に対する救急処置を理解し、実施できる。 現場における救急体制の重要性と計画性を理解する。 						
評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> 筆記テスト 50% 実技 50% 						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	救急処置基礎およびスポーツ現場における救急処置の意義、目的について説明できる	学んだことを振り返る
2		演習	救急医療の現状の理解、重要性について説明できる	学んだことを振り返る
3		演習	怪我の評価と観察の重要性について説明できる	学んだことを振り返る
4		演習	外傷への応急処置について説明できる	学んだことを振り返る
5		演習	緊急時の救命処置について説明できる①	学んだことを振り返る
6		演習	緊急時の救命処置について説明できる②	学んだことを振り返る
7		演習	心肺蘇生法・固定法の実践について説明できる①	学んだことを振り返る
8		演習	心肺蘇生法・固定法の実践について説明できる②	学んだことを振り返る
9		演習	心肺蘇生法・固定法の実践について説明できる③	学んだことを振り返る
10		演習	心肺蘇生法・固定法の実践について説明できる④	学んだことを振り返る
11		演習	心肺蘇生法・固定法の実践について説明できる⑤	学んだことを振り返る
12		演習	内科的疾患への救急処置について説明できる	学んだことを振り返る
13		演習	現場における救急体制について説明できる	学んだことを振り返る
14		試験	学習した内容の問題に答えられる	
15		演習	学習した内容の問題に答えられる	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
アスレティックトレーナー専門科目テキスト 応急処置				

科目名 (英)	応用医学Ⅱ (スポーツ内科学) (Applied Sports Medicine)	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	浅沼達二
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	S53年岩手医科大学医学部卒業、整形外科医として開院・日本スポーツ協会スポーツドクター						
授業の学習内容	スポーツ選手における内科的疾患を理解し、その対処法を身につけるとともに、感染症に対する対応策を説明ができるようになる。また、内科的メディカルチェックについても理解し、説明ができるようになる。						
到達目標	内科疾患などを理解した上で、その疾患に対し配慮ができる運動処方などを作成し、さらにその処方に基づいた指導を行った際の評価方法などを考えることができるようになる。また、内科的疾患などにおける救急時の対応方法、スポーツ医学を取り巻く社会問題などについても理解する。						
評価方法と基準	各授業時間におけるテーマに対する発表内容(出席20%)、内科疾患を理解するうえでの定期筆記試験(60%)及び自らテーマを決めて発表する研究発表会の内容(20%)などを総合的に判定する。時間外実習として、メディカルチェックとしての運動負荷試験を見学し、その目的と流れを理解する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	呼吸循環器系疾患について説明できる	次回のテーマにおける症例について事前に考察しておく
2		講義	消化器系疾患について説明できる	次回のテーマにおける症例について事前に考察しておく
3		講義	血液疾患、腎臓泌尿器系疾患について説明できる	次回のテーマにおける症例について事前に考察しておく
4		講義	感染症に対する対応策について説明できる	次回のテーマにおける症例について事前に考察しておく
5		講義	血液感染症、皮膚感染症について説明できる	次回のテーマにおける症例について事前に考察しておく
6		講義	ウイルス性結膜炎およびその他の感染症について説明できる	次回のテーマにおける症例について事前に考察しておく
7		講義	オーバートレーニング症候群について説明できる	プレゼン準備
8		講義	突然死について説明できる	次回のテーマにおける症例について事前に考察しておく
9		講義	過換気症候群について説明できる	次回のテーマにおける症例について事前に考察しておく
10		講義	高所、低酸素環境下、暑熱環境下、低温環境下での身体への影響について説明できる	次回のテーマにおける症例について事前に考察しておく
11		講義	時差および海外遠征時における諸問題について説明できる	次回のテーマにおける症例について事前に考察しておく
12		講義	内科的メディカルチェックおよびドーピングコントロールについて説明できる	次回のテーマにおける症例について事前に考察しておく
13		講義	女性、高齢者のスポーツ医学について説明できる	プレゼン準備
14		試験	学習した内容の問題に答えられる	
15		講義・発表	学習した内容の問題に答えられる	
準備学習 時間外学習			運動負荷試験の見学	
【使用教科書・教材・参考書】				
公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト④健康管理とスポーツ医学				

科目名 (英)	応用医学Ⅱ (スポーツ医学Ⅱ) (Sports Medicine Ⅱ)		必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	浅沼 達二
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 火曜4限
教員の略歴	S53年岩手医科大学医学部卒業、整形外科医として開院・日本スポーツ協会スポーツドクター							
授業の学習内容	スポーツ外傷・障害についての病体、発生機序、診断方法、画像診断、徒手検査について理解し習得することが出来るようにする。また、年齢、性別によるスポーツ外傷・障害の特徴を理解する。							
到達目標	アスリートのメディカルチェックをして、適性について説明ができる。病名を把握し、それに対するアスレティック・リハビリテーションを施行できる。							
評価方法と基準	筆記によるテスト。授業中質問に答えることが出来る。							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	運動器系の解剖と機能について説明できる	配布資料の予習・復習
2		講義	上肢のスポーツ外傷・障害について説明できる	配布資料の予習・復習
3		講義	上肢のスポーツ外傷・障害の病態について説明できる	配布資料の予習・復習
4		講義	上肢のスポーツ外傷・障害の発生機序について説明できる	配布資料の予習・復習
5		講義	上肢のスポーツ外傷・障害の診断方法について説明できる	配布資料の予習・復習
6		講義	上肢のスポーツ外傷・障害の画像診断について説明できる	配布資料の予習・復習
7		講義	上肢のスポーツ外傷・障害の徒手検査について説明できる	配布資料の予習・復習
8		講義	体幹のスポーツ外傷・障害について説明できる	配布資料の予習・復習
9		講義	体幹のスポーツ外傷・障害の病態について説明できる	配布資料の予習・復習
10		講義	体幹のスポーツ外傷・障害の発生機序について説明できる	配布資料の予習・復習
11		講義	体幹のスポーツ外傷・障害の診断方法について説明できる	配布資料の予習・復習
12		講義	体幹のスポーツ外傷・障害の画像診断について説明できる	配布資料の予習・復習
13		講義	体幹のスポーツ外傷・障害の徒手検査について説明できる	配布資料の予習・復習
14		試験	学習した内容の問題に答えられる	
15		講義	学習した内容の問題に答えられる	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	測定評価 (測定と評価 I)	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	早坂 ひとみ
	(Movement Screening and Assessment I)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 木曜4限
学科・コース	プロスポーツトレーナー科						
教員の略歴	専門学校卒業後柔道整復師として勤務。柔道整復師・日本スポーツ協会アスレティックトレーナー JATI-AATI						
授業の学習内容	体力の構成要素、その検査、測定と評価方法を理解する。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・体力の構成要素を理解し、その測定を実施できる。 ・新体力テストの測定方法を理解し、評価、フィードバックができる。 ・スポーツ動作を分析し、パフォーマンス向上に役立てられる。 ・統計を理解、評価し、そのデータに基づいた運動指導を行うことができる。 						
評価方法と基準	筆記テスト						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	体力の構成要素について説明できる	学んだことを振り返る
2		演習	有酸素能力の検査目的と意義について説明できる	学んだことを振り返る
3		演習	有酸素能力の測定および評価について説明できる	学んだことを振り返る
4		演習	敏捷性の検査目的と意義について説明できる	学んだことを振り返る
5		演習	敏捷性の測定および評価について説明できる	学んだことを振り返る
6		演習	スポーツ動作の観察および分析方法について説明できる	学んだことを振り返る
7		演習	歩行動作による障害発生メカニズムについて説明できる	学んだことを振り返る
8		演習	走行動作による障害発生メカニズムについて説明できる	学んだことを振り返る
9		演習	切り返し動作による障害メカニズムについて説明できる	学んだことを振り返る
10		演習	跳動作による障害発生メカニズムについて説明できる	学んだことを振り返る
11		演習	投動作による障害発生メカニズムについて説明できる	学んだことを振り返る
12		演習	コンタクトスポーツによる障害発生メカニズムについて説明できる①	学んだことを振り返る
13		演習	コンタクトスポーツによる障害発生メカニズムについて説明できる②	学んだことを振り返る
14		試験	学習した内容の問題に答えられる	
15		演習	学習した内容の問題に答えられる	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
アスレティックトレーナー専門科目テキスト 検査・測定と評価				

科目名 (英)	測定評価 (測定と評価Ⅱ)	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	早坂ひとみ
	(Movement Screening and Assessment Ⅱ)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 木曜4限
学科・コース	プロスポーツトレーナー科						
教員の略歴	専門学校卒業後柔道整復師として勤務。柔道整復師・日本スポーツ協会アスレティックトレーナー JATI-AATI						
授業の学習内容	アスレティックトレーナーにとって必要とされる評価法についての意義と考え方を説明できる。また、評価による問題点の抽出から問題改善へのプロセスを理解し、説明ができる。更に、評価を進める上で必要とされる検査測定手技について実践ができる。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 測定、評価の意義、目的を理解し、実践できる。 身体機能の測定、評価を行い、得られたデータを分析できる。 身体機能の測定、評価で得られたデータをフィードバックできる。 						
評価方法と基準	筆記テスト						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	評価の目的、意義および役割について説明できる	学んだことを振り返る
2		演習	機能評価方法について説明できる	学んだことを振り返る
3		演習	検査方法Ⅰ(アライメントテスト)について実践できる	学んだことを振り返る
4		演習	検査方法Ⅱ(関節可動域テスト)について実践できる	学んだことを振り返る
5		演習	検査方法Ⅲ(関節弛緩性テストⅠ)について実践できる	学んだことを振り返る
6		演習	検査方法Ⅳ(関節弛緩性テストⅡ)について実践できる	学んだことを振り返る
7		演習	検査方法Ⅴ(タイトネステストⅠ)について実践できる	学んだことを振り返る
8		演習	検査方法Ⅵ(タイトネステストⅡ)について実践できる	学んだことを振り返る
9		演習	検査方法Ⅶ(徒手筋力テストⅠ)について実践できる	学んだことを振り返る
10		演習	検査方法Ⅷ(徒手筋力テストⅡ)について実践できる	学んだことを振り返る
11		演習	検査方法Ⅸ(身体組成Ⅰ)について実践できる	学んだことを振り返る
12		演習	検査方法Ⅹ(身体組成Ⅱ)について実践できる	学んだことを振り返る
13		演習	機能評価に基づくコンディショニングの目標設定とプログラム立案ができる	学んだことを振り返る
14		試験	学習した内容の問題に答えられる	
15		演習	学習した内容の問題に答えられる	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
アスレティックトレーナー専門科目テキスト 検査・測定と評価				

科目名 (英)	AT指導者論Ⅱ (アスレティックトレーナー講座) (Athletic Training)		必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	早坂 ひとみ
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 曜日・時限 木曜・1,2限
教員の略歴	専門学校卒業後柔道整復師として勤務。柔道整復師・日本スポーツ協会アスレティックトレーナー JATI-AATI							
授業の学習内容	アスレティックパフォーマンスを維持、向上させるための外傷予防、応急処置、怪我の再発予防に備えたテーピング、ストレッチング、コンディショニングトレーニングの知識と技術を習得する。また、障害予防における応用的知識や運動プログラムの立案や指導ができる。							
到達目標	・スポーツ現場で起こりうる外傷・障害を予防するために必要なテーピング、ストレッチング、コンディショニング法などの手技の理論を理解し、実践できる。							
評価方法と基準	・筆記テスト ・実技							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	傷害予防のためのテーピングが説明できる	テキストの予習・復習
2		演習	競技種目別テーピング①が実践できる	テキストの予習・復習
3		演習	競技種目別テーピング②が実践できる	テキストの予習・復習
4		演習	競技種目別テーピング③が実践できる	テキストの予習・復習
5		演習	膝関節テーピングが実践できる	テキストの予習・復習
6		演習	足関節テーピングが実践できる	テキストの予習・復習
7		演習	肩鎖関節、前方脱臼などのテーピングが実践できる	テキストの予習・復習
8		演習	応急処置テーピングが実勢できる	テキストの予習・復習
9		演習	スポーツマッサージ①について説明・実践できる	テキストの予習・復習
10		演習	スポーツマッサージ②について説明・実践できる	テキストの予習・復習
11		演習	スポーツマッサージ③について説明・実践できる	テキストの予習・復習
12		演習	RICE処置ができる	テキストの予習・復習
13		演習	重篤な場合の判断と対応ができる	テキストの予習・復習
14		試験	学習した内容の問題に答えられる	
15		演習	学習した内容の問題に答えられる	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
アスレティックトレーナー専門科目テキスト 予防とコンディショニング				

科目名 (英)	エクササイズ応用 I (グループエクササイズ) (Group Exercise)		必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	金森千穂
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	HT10年、専門学校卒業後フリーのインストラクターとして活躍。JAF A-GFI エクササイズ シニアプロフェッショナル アドバンス教育トレーナー 介護予防運動指導員 バランスコーディネーション教育トレーナー 健康運 動実践指導者							
授業の学習内 容	集団での運動指導を行う際の、指導者の役割が説明できる。 集団であらゆる運動を指導する際に、種目や環境、対象者に応じたウォーミングアップ、クールダウン、ストレッチが実践できる。屋外での集団指導(ウォーキング・ジョギングなど)、屋内での集団指導(エアロビクスなど)を経験し、指導者の役割やポイントを説明できる。							
到達目標	健康の保持増進を目的にした安全で効果的な集団への運動指導について理解し、指導ができる。							
評価方法と基準	1) 筆記試験30% 2) 実技試験30% 3) 出席状況40%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	グループエクササイズとは	学んだことを振り返る
2		演習	グループエクササイズの指導理論と実際① ウォーミングアップ、クールダウン、ストレッチング	学んだことを振り返る
3		演習	グループエクササイズの指導理論と実際② ウォーミングアップ、クールダウン、ストレッチング	学んだことを振り返る
4		演習	グループエクササイズの指導理論と実際③ ウォーミングアップ、クールダウン、ストレッチング	学んだことを振り返る
5		演習	グループエクササイズの指導理論と実際⑤ 屋内での集団指導	学んだことを振り返る
6		演習	グループエクササイズの指導理論と実際⑥ 屋内での集団指導	学んだことを振り返る
7		演習	グループエクササイズの指導理論と実際⑦ 屋内での集団指導	学んだことを振り返る
8		演習	グループエクササイズの指導理論と実際⑧ 屋外での集団指導	学んだことを振り返る
9		演習	グループエクササイズの指導理論と実際⑨ 屋外での集団指導	学んだことを振り返る
10		演習	グループエクササイズの指導理論と実際⑩ 屋外での集団指導	学んだことを振り返る
11		演習	グループエクササイズの指導理論と実際⑪ 屋外での集団指導	学んだことを振り返る
12		演習	グループエクササイズの指導理論と実際⑫ 屋外での集団指導	学んだことを振り返る
13		演習	グループエクササイズの指導理論と実際⑬ 屋外での集団指導	学んだことを振り返る
14		試験	試験	
15		試験	試験	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
健康運動実践指導者養成用テキスト				

科目名 (英)	エクササイズ応用Ⅱ (ヨガⅠ) (Yoga I)	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	大和田早苗
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 金曜1限
教員の略歴	ヨガインストラクター						
授業の学習内容	ヨガとは何かについて歴史や哲学について知識を学ぶ。 基礎的なポーズや呼吸について実践的に学ぶ。 ヨガのレッスンの流れを体験しながら、ポイントを学ぶ。 自分でレッスンを組立て、指導練習を行う。						
到達目標	ヨガとは何か説明ができる。 ヨガの基礎的なポーズや呼吸について説明ができ、実践することができる。 お客様の事を考え、ヨガのレッスンを計画し指導することができる。						
評価方法と基準	1) 実技テスト 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	ヨガについて	ノートにまとめる
2		演習	ポーズの種類	ノートにまとめる
3		演習	呼吸法	ノートにまとめる
4		演習	クラスづくり	ノートにまとめる
5		演習	レッスン	反復練習
6		演習	レッスン	反復練習
7		演習	誘導	反復練習
8		演習	誘導	反復練習
9		演習	実践練習	反復練習
10		演習	実践練習	反復練習
11		演習	マニュアル作成	ノートにまとめる
12		演習	ロールプレイング	反復練習
13		演習	ロールプレイング	反復練習
14		演習	ロールプレイング	反復練習
15		試験	実技テスト	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 健康運動実践指導者養成用テキスト				

科目名 (英)	集客 I (SNS活用術 I) (SNS Marketing I)		必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 金曜・4限
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員							
授業の学習内容	様々なスポーツ現場でファンを獲得したり、集客につなげるために効果的なSNS(LINE、ツイッター、インスタグラム、youtubeなど)の活用ができるために、実践しながら機能を確認していく。							
到達目標	<p>各種SNSの種類や、仕組み、特徴について説明することができる。</p> <p>SNSを活用するメリットやデメリットについて説明することができる。</p> <p>SNSの社会的な問題について説明することができる。</p> <p>各種SNSの使い方を説明することができる。</p> <p>各種SNSを使用することができる。</p> <p>各種SNSの使用をサポートすることができる。</p>							
評価方法と基準	1) 提出物 100%							

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		演習	オリエンテーション SNSとは				
2		演習	SNSの種類、仕組み、特徴		事前に調べる		
3		演習	SNSの種類、仕組み、特徴		事前に調べる		
4		演習	SNSのメリットとデメリット		事前に調べる		
5		演習	SNSのメリットとデメリット		事前に調べる		
6		演習	SNSを取り巻く社会的問題		事前に調べる		
7		演習	SNSを取り巻く社会的問題		事前に調べる		
8		演習	各種SNSの使用実践、機能の確認		機能確認・振り返り		
9		演習	各種SNSの使用実践、機能の確認		機能確認・振り返り		
10		演習	各種SNSの使用実践、機能の確認		機能確認・振り返り		
11		演習	各種SNSの使用実践、機能の確認		機能確認・振り返り		
12		演習	各種SNSの使用実践、機能の確認		機能確認・振り返り		
13		演習	各種SNSの使用実践、機能の確認		機能確認・振り返り		
14		演習	各種SNSの使用実践、機能の確認		機能確認・振り返り		
15		演習	各種SNSの使用実践、機能の確認				
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名 (英)	集客 I (SNS活用術 II) (SNS Marketing II)		必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 金曜・4限
教員の略歴	健康運動指導士 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員							
授業の学習内容	様々なスポーツ現場でファンを獲得したり、集客につなげるために効果的なSNS(LINE、ツイッター、インスタグラム、youtubeなど)の活用ができるために、実践しながら機能を確認していく。							
到達目標	スポーツビジネスの現場を想定し、SNSをどのように活用できるかを考え説明することができる。 各種SNSを実際に運用しながら、工夫や改善について説明し、実践することができる							
評価方法と基準	1) 提出物 100%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
2		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
3		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
4		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
5		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
6		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
7		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
8		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
9		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
10		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
11		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
12		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
13		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
14		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
15		演習	SNSの活用実践 状況に応じた改善	状況確認と考察
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	制作Ⅱ (動画編集&カメラワークⅡ)	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	真島一平
	(Video Editing & Camera Techniques Ⅱ)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 火曜3限
学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科						
教員の略歴	2008年4月～映像制作会社に勤め、2015年2月～個人事業で映像制作を行っている						
授業の学習内容	スポーツの魅力を伝えていくためのツールのひとつとして、映像の可能性を学ぶ。また実際にあらゆる映像機器を使用し撮影・編集の知識と技術を身に付け、スポーツにおける映像の活用方法を探る。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な映像の知識と撮影手法・編集技術を身に付け、実践できる。 ・実際に映像を制作し、「伝える」ために大切な基礎基本と創意工夫の思考を身に着ける。 ・知識・技術を実生活でも活かすことができる。 						
評価方法と基準	1) 出席状況 50% 2) 実技 30%(積極性や応用性) 3) 成果物 20%(知識技術が活かしているか)						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義	映像の基礎知識、映像カメラの種類、実生活における映像、スポーツにおける映像		TVやSNSを学んだ内容を通して見てみる等		
2		実習	映像カメラの基本操作、校内を撮影してみる		TVやSNSを学んだ内容を通して見てみる等		
3		講義	映像撮影の基本ルール		目にする映像をルールに沿って見てみる等		
4		実習	ルールを基にテーマを決めて学校を撮影		目にする映像をルールに沿って見てみる等		
5		講義	映像編集の基本ルール		目にする映像をルールに沿って見てみる等		
6		実習	ルールを基に撮影した映像を編集		目にする映像をルールに沿って見てみる等		
7		講義	特殊な映像機器(ジンバル等)の知識と映像の未来		スポーツで使用されている映像機器を調べてみる		
8		実習	ジンバルカメラでの撮影		スポーツで使用されている映像機器を調べてみる		
9		講義	「伝える」ための映像制作実習の下準備		実際に制作するためのインプット		
10		実習	「伝える」ための映像制作:撮影		実際に制作するためのインプット		
11		実習	「伝える」ための映像制作:撮影		実際に制作するためのインプット		
12		実習	「伝える」ための映像制作:編集		実際に制作するためのインプット		
13		実習	「伝える」ための映像制作:編集		実際に制作するためのインプット		
14		実習	「伝える」ための映像制作:編集		実際に制作するためのインプット		
15		講義	制作映像の上映会と講評・教員からの質問				
準備学習 時間外学習			基本的に講義・演習に生かすためのインプット作業のみ				
都度必要な情報をまとめたテキストを配布する予定							

科目名 (英)	テクノロジーⅡ (ドローンベーシックⅠ) (Drone basic Ⅰ)		必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	真島一平
	学科・コース	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 火曜4限
教員の略歴	2008年4月～映像制作会社に勤め、2015年2月～個人事業で映像制作を行っている							
授業の学習内容	スポーツの魅力を伝えていくためのツールのひとつとして、映像の可能性を学ぶ。 その中で映像技術の最先端であるドローンの基礎知識と技術を身に付け、活用方法を探る。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 基本的なドローンの知識と使用方法を身に付け、実践できる。 実際にドローン撮影を行い、体感することで、自身が携わる未来への具体的な活用法を見出す。 ドローンの扱いを通して、実生活で様々なツールを活用する上での分別や注意力を身に付ける。 							
評価方法と基準	<ol style="list-style-type: none"> 出席状況 50% 実技 30%(積極性や応用性) 成果物 20%(知識技術が活かしているか) 							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	ドローンの基礎知識、ドローンの種類、 実生活・スポーツにおけるドローン	YouTube等でドローン映像を見してみる
2		実習	ドローンの基本操作、校内広場で飛行	YouTube等でドローン映像を見してみる
3		実習	ドローンの基本操作、校内広場で飛行	YouTube等でドローン映像を見してみる
4		講義	飛行における注意点・危険性・許可等	ドローンの事故等を調べてみる
5		実習	ドローンの応用操作、校内広場で飛行	YouTube等でドローン映像を見してみる
6		実習	ドローンの応用操作、校内広場で飛行	YouTube等でドローン映像を見してみる
7		講義	スポーツ分野でのドローン・ カメラ機器について	スポーツで使用されている映像機器を調べてみる
8		実習	校内or校外でスポーツをドローンで撮影	スポーツで使用されている映像機器を調べてみる
9		講義	簡易的な編集技術の習得	実際に制作するためのインプット
10		実習	ドローンで映像を撮影	実際に制作するためのインプット
11		実習	ドローンで映像を撮影	実際に制作するためのインプット
12		実習	撮影したドローン映像を編集	実際に制作するためのインプット
13		実習	撮影したドローン映像を編集	実際に制作するためのインプット
14		実習	撮影したドローン映像を編集	実際に制作するためのインプット
15		講義	制作映像の上映会と講評・教員からの質問	
準備学習 時間外学習			基本的に講義・演習に生かすためのインプット作業のみ	
都度必要な情報をまとめたテキストを配布する予定				

科目名 (英)	イベントⅠ (プレゼンテーションスキルⅠ) (Presentation Skill Ⅰ)		必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
	学科・コース	プロスポーツトレーナー	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 月曜1,2限
教員の略歴	2006年4月～20017年12月までフィットネスクラブに所属 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員							
授業の学習内容	スポーツ関連のビジネスをする上で、相手を惹きつけるために必要な話し方について考えを深めていく。あらゆるプレゼンテーションツールを各現場に合わせて魅力的なものに作成していくスキルを身につける。							
到達目標	1) プレゼンテーションのポイントについて説明できる 2) プレゼンテーション力について説明できる 3) 他者のプレゼンテーションみて魅力的な方法について自分の考えを説明することができる 4) プレゼンテーションツールを活用し、プレゼンテーションすることができる 5) 自分のプレゼンテーションについて振り返り、改善することができる							
評価方法と基準	1)課題提出・発表 100%							

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		演習	プレゼンテーションとは		資料まとめ
2		演習	プレゼンテーションのポイント		資料まとめ
3		演習	プレゼンテーションのポイント		資料まとめ
4		演習	プレゼンテーション力		資料まとめ
5		演習	他者のプレゼンテーションと気づき		資料まとめ
6		演習	他者のプレゼンテーションと気づき		資料まとめ
7		演習	他者のプレゼンテーションと気づき		資料まとめ
8		演習	他者のプレゼンテーションと気づき		資料まとめ
9		演習	プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
10		演習	プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
11		演習	プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
12		演習	プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
13		演習	プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
14		演習	プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
15		演習	プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
準備学習		時間外学習			
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名 (英)	イベントⅠ (プレゼンテーションスキルⅡ) (Presentation Skill Ⅱ)		必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	藤村真仁
	学科・コース	プロスポーツトレーナー	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 月曜1,2限
教員の略歴	2006年4月～20017年12月までフィットネスクラブに所属 仙台医健・スポーツ専門学校専任教員							
授業の学習内容	スポーツ関連のビジネスをする上で、相手を惹きつけるために必要な話し方について考えを深めていく。あらゆるプレゼンテーションツールを各現場に合わせて魅力的なものに作成していくスキルを身につける。							
到達目標	1)他者のプレゼンテーションみて魅力的な方法について自分の考えを説明することができる 2)プレゼンテーションツールを活用し、プレゼンテーションすることができる 3)自分のプレゼンテーションについて振り返り、改善することができる							
評価方法と基準	1)課題提出・発表 100%							

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
2		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
3		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
4		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
5		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
6		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
7		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
8		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
9		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
10		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
11		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
12		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
13		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
14		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
15		演習	他者のプレゼンテーションと気づき プレゼンテーション作成・実践・改善		資料まとめ
準備学習 時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名 (英)	ジュニアスポーツⅡ (総合型地域スポーツクラブ演習) (Internship Program)		必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	渡会 稔
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 集中
教員の略歴	1999年日本スポーツ協会アスレティックトレーナー取得 2009年～2014年仙台大学 体育学部 体育 学科 助教 プロバスケットボールチームトレーナーを歴任							
授業の学習内 容	指導計画書を作成し、その計画書に基づきプレゼンテーションを行なう。							
到達目標	総合型地域スポーツクラブで指導の計画および実践ができる。 また、その活動についてワード・パワーポイントを使用し報告会ができる。							
評価方法と基準	1)発表 2)提出物							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	オリエンテーション キッツスポーツクラブ総合実習の目的、予定、 クラブへの挨拶について	ノートにまとめる
2		演習	キッツスポーツクラブ総合実習の心得 活動中に発生する怪我の予防と安全管理、報告、連絡、相談の重要 性	ノートにまとめる
3		演習	キッツスポーツクラブ総合実習の指導計画作成 実習日誌(報告書)の書き方、	ノートにまとめる
4		演習	指導計画Ⅰ(走る・跳ぶ遊びを中心に)	ノートにまとめる
5		演習	指導計画Ⅱ(投げる・回る遊びを中心に)	ノートにまとめる
6		演習	指導計画Ⅲ(サッカー・ボール遊びを中心に)	ノートにまとめる
7		演習	指導計画Ⅳ(一人や二人でできる遊びを中心に)	ノートにまとめる
8		演習	指導計画Ⅴ(集団・表現遊びを中心に)	ノートにまとめる
9		演習	コーディネーション指導Ⅰ (用具を使わないもの、マット運動、平均台、跳び箱、鉄棒、ボール)	ノートにまとめる
10		演習	コーディネーション指導Ⅱ (身体の定位・反応能力、バランス・リズム感覚)	ノートにまとめる
11		演習	コーディネーション指導Ⅲ (分化・変換能力)	ノートにまとめる
12		演習	演習(指導)の振り返り 御礼状の書き方	ノートにまとめる
13		演習	実習報告会準備 パワーポイント、抄録作成	ノートにまとめる
14		試験	実習報告会(1人6分、質疑応答2分)	ノートにまとめる
15		演習	まとめ 感想レポート作成	ノートにまとめる
準備学習 時間外学習			授業の復習として各講義のポイントをまとめる	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	コーチング I (Coaching of Sports)	必修 選択	コース 必修 /選択	年次	2	担当教員	藤本 敏彦
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 金曜3限
教員の略歴	1990年鹿屋体育大学修士課程修了後、東北大学にて勤務 准教授						
授業の学習内容	指導者として必要なコーチングスキルについて実践と講義を通して学ぶ						
到達目標	競技者のモチベーションを高めるコーチング法を実践できる。 こどもへの適切なコーチングが実践できる。 チームマネージメントが行える。						
評価方法と基準	定期試験 100%、 授業時の居眠り、雑談等は教員の判断で減点。						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1	4/12	演習	競技集団の構造と指導者について説明できる		講義の復習		
2	4/19	演習	発育発達過程におけるコーチと選手の関係について説明できる①		講義の復習		
3	4/26	演習	発育発達過程におけるコーチと選手の関係について説明できる②		講義の復習		
4	5/10	演習	発育発達過程におけるコーチと選手の関係について説明できる③		講義の復習		
5	5/17	演習	指導者の役割と機能について説明できる①		講義の復習		
6	5/24	演習	指導者の役割と機能について説明できる②		講義の復習		
7	5/31	演習	コーチングに求められる資質と能力① ～捉え方、着眼点について～ について説明できる		講義の復習		
8	6/14	演習	コーチングに求められる資質と能力② ～観察力と分析力～ について説明できる		講義の復習		
9	6/21	演習	コーチングに求められる資質と能力③ ～論理的言語技術、表現力～ について説明できる		講義の復習		
10	6/28	演習	コーチングに求められる資質と能力④ ～計画力、実践力～ について説明できる		講義の復習		
11	7/5	演習	コーチングに求められる資質と能力⑤ ～評価能力、マネジメント能力～ について説明できる		講義の復習		
12	7/12	演習	競技種目別コーチングの特徴 について説明できる①		講義の復習		
13	7/26	演習	競技種目別コーチングの特徴 について説明できる②		講義の復習		
14	8/30	演習	競技種目別コーチングの特徴 について説明できる③		自主採点		
15	9/6	演習	生涯スポーツ分野におけるコーチング について説明できる		試験内容の復習		
16	/						
準備学習 時間外学習				配付資料の完成			
【使用教科書・教材・参考書】							
ジュニアスポーツ指導員専門科目テキスト							

科目名 (英)	社会福祉 (Social Welfare)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	徳田 律子
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期 木曜・3時 限
教員の略歴	平成11年から現在まで県内外の大学、専門学校にて社会福祉科目を指導する。						
授業の学習内容	保健・医療・福祉といった枠組みは、あらゆる生活場面における諸サービスと有機的に連携し機能していくシステムである。現代社会においては保育もまたそうした「ソーシャル・サービス」の一つであり、福祉という視点からその運営、供給について理解を深めることを通じて、そのあり方を考察することを目的とする。そこで本講では、社会福祉の歴史の変遷をたどりつつ、現代福祉の実際や諸外国の社会福祉制度の実際について学び、わが国における社会サービスのあり方について理解を深める。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉の歴史の変遷を通じて、社会動向の影響を受ける社会システムの実際について整理することができるようになる ・福祉を生活の視点から捉え直し、福祉対象者の抱えるニーズおよび専門職者としての具体的な支援方法について理解し、適切に説明できるようになる ・わが国における福祉政策を大局的に捉え、表面的問題のみならず政策に対する判断や自己の意見が述べられるようになる 						
評価方法と基準	授業内で準備学習状況あるいは達成度確認レポート課題により(3割)、および定期試験における筆記試験により(7割)の総合評価とする						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9月28日	講義	なぜ社会福祉を学ぶのか考える	レポート:社会福祉の定義について調べる
2	10月5日	講義	古代社会における貧困と支援についてまとめる	レポート:古代社会における福祉の特徴についてまとめる
3	10月12日	講義	資本主義経済と近代的貧困の関係性を理解する	レポート:近代社会における資本主義経済と貧困の関係について説明する
4	11月2日	講義	戦後の福祉施策の展開を知る	レポート:第二次世界大戦後の国民の生活の様子についてまとめる
5	11月9日	講義	現代社会福祉の理念を理解する	レポート:ノーマライゼーションについて調べる
6	11月16日	講義	バリアフリーの課題についてまとめる	レポート:バリアフリーの実際について生活の中からまとめる
7	11月30日	講義	低所得者問題の実際を考える	レポート:生活保護受給者の動向について調べる
8	12月7日	講義	高齢者の福祉ニーズと支援の実際を知る	レポート:認知症者数の動向について調べる
9	12月14日	講義	児童の福祉ニーズと支援の実際を知る	レポート:児童虐待の実際について調べる
10	12月21日	講義	障害者のニーズと支援を知る	レポート:ICIDHとICFについてまとめる
11	12月21日	講義	イギリスの福祉制度の発展について理解する	レポート:セツルメントについて調べる
12	1月11日	講義	アメリカの医療保障制度の問題について議論する	レポート:映画ジョンQを観て医療保障問題について整理する
13	1月11日	講義	スウェーデンの福祉国家の仕組みについて理解する	レポート:スウェーデンのエーデル改革について調べる
14	1月18日	テスト	定期試験	レポート:これまでの授業をプリントなどから整理する
15	1月25日	講義	現代社会福祉の課題と展望を考える	議論
準備学習 時間外学習			授業の最後にまとめを行い、次の授業内容とそれに向けた課題について適宜指示する	
【使用教科書・教材・参考書】				
社会福祉概論				

科目名 (英)	保育原理	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	富樫 裕一
	(Childcare Principle)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 月曜2限
学科・コース	プロスポーツトレーナー科						
教員の略歴	仙台医療福祉専門学校教員・近畿大学非常勤講師・宮城教育大学非常勤講師・幼稚園教諭						
授業の学習内容	様々な西洋、及び日本における保育思想と児童観の変遷を通し、日本における幼稚園、保育所等の成立とそれに関する人物及び変遷について学ぶ。 また、保育に関する概略的な知識について学ぶ。						
到達目標	①自分の子ども観、保育観についての概観を知る。 ②保育に関する概略的な知識を知る。						
評価方法と基準	定期試験(60%)レポート課題(30%)平常点(10%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/10	講義	乳幼児の特質と保育の意義を理解する	学習課題2枚(アマラとカマラまとめ)
2	4/17	講義	〃	1枚(まとめ)
3	4/24	講義	乳幼児の発達的特徴を考える	2枚(性善説・性悪説)
4	5/1	講義	保育思想と児童観(西洋編)を知る	1枚(あなたの中の別の人の声)
5	5/8	講義	保育思想と児童観(日本編)を知る	1枚(七五三はなぜやるの)
6	5/15	講義	近代保育の創設・発展(日本)を知る	1枚(保育用語を調べてみよう)
7	5/22	講義	まとめ及び課題の発表	
8	5/29	講義	我が国における幼稚園の成立と変遷	
9	6/5	講義	我が国における保育所の成立と変遷	
10	6/19	講義	保育の目的	1枚(遊びについて)
11	7/3	講義(オンライン)	保育の計画・評価遊びなどを知る	1枚(先生としての信用とは)
12	7/3	講義(オンライン)	保育の目的・方法	1枚(先生としての覚悟)
13	7/3	講義(オンライン)	保育の計画・評価	授業の内容を理解する
14	7/10	講義(オンライン)	子育て支援・保育の多様化	
15	7/10	講義(オンライン)	保育の今日的課題とまとめ	
	9/4	試験		
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
国語辞典・幼稚園教育要領・保育所保育指針				

科目名 (英)	子ども家庭支援論 (Family Support Theory)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	鑑さやか
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30(2)	開講区分	後期 木曜4限
教員の略歴	東北文化学園大学現代社会学部准教授						
授業の学習内容	現在、核家族化の進行、地域の養育力の減少、女性の社会進出などの種々の社会的環境の変化により、子育て家庭を取り巻く状況は様々な問題や課題を抱えている。授業では、そうした子育て支援施策の現況を念頭に置きつつ、保育所や地域でどのような家庭支援・子育て支援が必要なのかについて、子育て家庭のニーズや社会的課題を踏まえて考える。						
到達目標	①子育て家庭を取り巻く現状を把握し、家庭の意義と機能について理解する ②子育て家庭の支援体制について理解する ③子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と保育所や地域との連携について理解する						
評価方法と基準	定期試験(70%) ミニレポート(20%) 出席・授業への参加態度(10%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月31日	講義	オリエンテーション	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
2	10月31日	講義	家庭支援の対象と役割～家庭の機能～	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
3	11月7日	講義	支援を必要とする家庭を取り巻く社会的状況	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
4	11月7日	講義	地域の子育て家庭と子育て支援の実際	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
5	11月14日	講義	家庭支援に関わる法・制度	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
6	11月14日	講義	子育て家庭の支援体制(1)	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
7	11月21日	講義	子育て家庭の支援体制(2)	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
8	11月21日	講義	保育者が行う家庭支援の原理(1)	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
9	11月28日	講義	保育者が行う家庭支援の原理(2)	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
10	12月5日	講義	保育を必要とする家庭とその支援	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
11	12月12日	講義	障害児とともにある家庭とその支援	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
12	12月19日	講義	子どもの貧困とその家庭への支援	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
13	1月16日	講義	養育困難家庭への支援	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
14	1月23日	講義	地域の子育て家庭への支援	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
15	1月30日	講義	家庭支援サービスの課題	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
		試験	試験	授業中に指示する
準備学習 時間外学習			復習は、配布資料の穴埋め箇所を中心に行うこと	
【使用教科書・教材・参考書】				
橋本 真紀(編集), 山縣 文治(編集) よくわかる家庭支援論 ミネルヴァ書房				

科目名 (英)	子どもの食と栄養 (Food and Nutrition of Child)		必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	千石 祐子
学科・コース	プロスポーツトレーナー科		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期末曜日・2 限
教員の略歴	管理栄養士 宮城県仙台市保健福祉センター嘱託							
授業の学習内 容	小児期の健やかな成長と生涯にわたる健康の第1歩となる食、栄養に関する基本的な知識と子どもの発育発達という特徴を踏まえて学習する。また子どもの食生活は発達のみならず心身の健康にも影響が大きいため栄養学的特性を学び、適した食物の摂取や食育指導方法を習得する必要がある。また家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について学び特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解を深める。							
到達目標	①健康な生活を基本として食生活の意義を学び基本的知識を学ぶ。 ②子どもの発育発達に合わせた食生活とその意義実践について理解する。 ③食育を行うための基礎知識を学びその重要性を理解する。 ④家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について理解する。 ⑤特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する。							
評価方法と基準	試験 70% レポート 20% 授業態度 10%							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)			
1	4/13	講義	オリエンテーション 成人期とは違う子どもの栄養と食生活の特性を学ぶ 生活の現状と課題について理解する	子どもの食	資料配布P2～P16を読んでおく			
2	4/20	講義	栄養の基礎知識 ① 消化のしくみと栄養の取り組みについて理解する。糖質・脂質・たんぱく質 栄養の基礎知識 ② 消化のしくみと栄養の取り組みについて理解する	ミネラル・水分	P20～P29を読んでおく			
3	4/27	講義	栄養に関する基本を理解する		P30～P36を読んでおく			
4	5/11	講義	発育、発達のために何をどれ位食べれば良いかを学ぶ 子どもの身体発育や発達について理解する	子ども	P40～P58を読んでおく レポート課題			
5	5/18	講義と演習	妊娠の経過と妊婦の食生活について理解する		妊娠中の食事について考える。2日分の食事記録を考え食事バランスガイドに当てはめてみる			
6	5/25	講義	母乳栄養の特徴を知り保育者としてのかわりを知る。 母乳栄養の特徴を理解し調乳方法を学ぶ	人工栄養	配布したプリントの内容を復習する。 人工栄養の種類を調べて来る			
7	6/1	講義	学齢期・思春期の心身の発達と食生活について考える 特別な配慮を要する子どもの食と栄養について考える	特別な	P110～P140を読んでおく			
8	6/8	講義	障害のある子どもの食生活 児童福祉施設における食生活と栄養		P144～P183を読んでおく			
9	6/15	試験	テスト					
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】								
子どもの食と栄養 二見 大介 高橋 陽 編者								

科目名 (英)	子どもの保健	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	菱沼 ゆう
	(Children's Health)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30(2)	開講区分	前期 水曜1・2限
学科・コース	プロスポーツトレーナー科						
教員の略歴							
授業の学習内容	小児の健康状態の観察、乳幼児の養護、小児の疾病とその予防対策、事故と安全対策などの健康障害に関する知識の習得とその対策について学ぶ。また、救急処置や集団保育における健康管理の知識を習得し、日常の保育活動の場で実践できる能力を身につける。さらには、保育所と家庭の連携の重要性と保護者支援についても学ぶ。						
到達目標	少子化・核家族化の現代社会の中で、子どもを健やかに育てるために小児保健の基礎的な知識を理解し、子どもの健康・疾病について具体的に学習する。 ・子どもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境が理解できる。 ・子どもの疾病やその予防及び適切な対応について具体的に理解できる。 ・現代社会における心の健康問題や地域保健活動等について理解できる。						
評価方法と基準	期末試験50%、課題提出40%、受講態度10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月10日	講義	オリエンテーション 生命の保持と情緒の安定にかかる保健活動の意義と目的	事後レポート課題
2	5月10日	講義	健康の概念と健康指標	事後レポート課題
3	5月17日	講義	現代社会における子どもの健康に関する現状と母子保健施策	事前レポート課題
4	5月17日	講義	地域における保健活動と子ども虐待防止	事後レポート課題
5	5月24日	講義	身体発育および運動機能の発達と保健	事前レポート課題
6	5月24日	講義	生理機能の発達と保健	事後レポート課題
7	5月31日	講義	主な疾病の特徴①新生児の病気等	事前レポート課題
8	5月31日	講義	主な疾病の特徴②感染症、アレルギー等	事後レポート課題
9	6月7日	講義	健康状態の観察および心身の不調等の早期発見	事前レポート課題
10	6月7日	講義	発育・発達の把握と健康診断、保護者との情報共有	事後レポート課題
11	6月14日	講義	環境と衛生管理	事前レポート課題
12	6月14日	講義	安全管理と応急処置	事後レポート課題
13	6月21日	講義	子どもの生活と健康教育①保健だより・掲示物	事前レポート課題
14	6月21日	講義	子どもの生活と健康教育②保健指導	事後レポート課題
15	6月28日	講義	まとめ	まとめレポート課題
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
松田博雄、金森三枝編集 『新・基本保育シリーズ11 子どもの保健』(中央法規)				

科目名 (英)	保育の心理学 (Developmental Psychology)	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	2	担当教員	飯島典子
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 月曜5限
教員の略歴	東北大学大学院教育学研究科総合教育科学専攻博士課程 短期大学/専門学校講師10年以上						
授業の学習内容	保育者として子どもの現在の状態を理解し、発達を援助するために必要な知識を修得する。具体的には、運動発達、認知発達、社会性の発達など、各領域の発達メカニズムとその過程と複数の領域が関連し合いながら発達する機能間連関による発達について学ぶ。さらに、それらの知識を保育場面で活用する際の発達の観点にたった援助のあり方について学ぶ。						
到達目標	①発達を規定する要因を捉え、発達の理解と保育との関連について説明できる。 ②運動、認知、社会性などの領域ごとの発達メカニズムとその過程を説明できる。 ③発達の機能間連関について説明できる。 ④発達のエージェントとしての保育者の役割について考え、自分なりの意見を述べるができる。 ⑤発達に関する知識を踏まえた保育を創造することができる。						
評価方法と基準	1) 定期試験60% 2) 授業内課題20% 3) グループワークへの参加度20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月10日	講義	子どもの発達を理解することの意義	テキストを熟読すること
2	4月17日	講義	子どもの発達と保育	これまでの復習とテキストの熟読
3	4月17日	講義	身体・運動発達	これまでの復習とテキストの熟読
4	4月24日	講義	乳時期・幼児期前期の認知発達	これまでの復習とテキストの熟読
5	4月24日	講義	幼児期後期・児童期の認知発達	これまでの復習とテキストの熟読
6	5月1日	講義	言語の発達	これまでの復習とテキストの熟読
7	5月8日	講義	感情の発達	これまでの復習とテキストの熟読
8	5月8日	講義	社会性の発達	これまでの復習とテキストの熟読
9	5月15日	講義	仲間関係の発達	遊び経験とそこにある発達がなにかをまとめる
10	5月22日	講義	子どもの学びと発達	園での生活を調べ幼児の学びについてまとめ
11	5月29日	講義	生活と遊びを通じた学び	これまでの復習とテキストの熟読
12	6月5日	講義	特別な支援を必要とする子どもの特徴	ルール遊びを考案する
13	6月19日	講義	特別な支援を必要とする子どもへの支援	これまでの復習とテキストの熟読
14	6月26日	講義	子どもの発達と現代的課題	これまでの復習とテキストの熟読
15	6月26日	講義	発達の観点をもった保育の創造	これまでの復習とテキストの熟読
準備学習 時間外学習			30時間	
【使用教科書・教材・参考書】				
シードブック 保育の心理学 (本郷一夫・飯島典子) 建帛社 ISBN 978-4-7679-5091-4				

科目名 (英)	子ども家庭福祉 (Children and Family Welfare)		必修 選択	必修	年次	2	担当教員	鑑さやか
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
教員の略歴	平成13年より現在まで県内外の大学、短期大学にて社会福祉科目を指導する。							
授業の学習内容	現代社会における子ども家庭福祉を取り巻く様々な問題について学び、意義や制度を理解する。また、現代のニーズを把握し、どのように対応していくべきか理解を深めていく。							
到達目標	現代社会における子ども家庭福祉の意義や制度を学び、家族のニーズにどう対応しているか理解できる。							
評価方法と基準	レポート、科目終末試験 100%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	3/13	講義	第1章 現代社会と子ども家庭福祉	教科書を熟読する
2	3/13	講義	第1章 現代社会と子ども家庭福祉	教科書を熟読する
3	3/13	講義	第2章 子ども家庭福祉の歴史	教科書を熟読する
4	3/20	講義	第3章 子ども家庭福祉の理念と法律	教科書を熟読する
5	3/20	講義	第3章 子ども家庭福祉の理念と法律	教科書を熟読する
6	3/20	講義	第4章 子ども家庭福祉の機関と専門職	教科書を熟読する
7	4/9	講義	第5章 児童福祉施設	教科書を熟読する
8	4/9	講義	第5章 児童福祉施設	教科書を熟読する
9	4/17	講義	第6章 子ども家庭福祉サービス	教科書を熟読する
10	4/17	講義	第6章 子ども家庭福祉サービス	教科書を熟読する
11	4/17	講義	第7章 保育サービス	教科書を熟読する
12	4/17	講義	第8章 困難を抱える子どもと家庭への支援	教科書を熟読する
13	4/17	講義	第8章 困難を抱える子どもと家庭への支援	教科書を熟読する
14	4/17	講義	第9章 少子化と子育て支援	教科書を熟読する
15	6/3	講義	科目終末試験	教科書を熟読する
16	/			
準備学習 時間外学習			近大レポート課題+科目終末試験	
【使用教科書・教材・参考書】				
児童家庭福祉 大津泰子著 ミネルヴァ書房				

科目名 (英)	幼児への特別な支援 (Disabled Children Childcare)		必修 選択	必修	年次	2	担当教員	富樫裕一
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時限	前期 月曜3限
教員の略歴	仙台医療福祉専門学校教員・近畿大学非常勤講師・宮城教育大学非常勤講師・幼稚園教諭							
授業の学習内容	知的障害の特徴と保育での支援等については、後のスクーリングで学習及び実際に見学に行くが、今回は、その他の障害の特徴と保育での支援について学び、障害児保育に関する支援を学ぶ。							
到達目標	障害の種類について全体をつかみ、それぞれの障害に対して、どのような支援の方法が考えられるか、具体例を示しながら学習することを目標とする。							
評価方法と基準	レポート、科目終末試験:100% 出席必須							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/10	講義	人間行動理解の観点、視覚障害児	
2	4/17	講義	聴覚障害児、肢体不自由児	
3	4/24	講義	聴覚障害児、肢体不自由児	
4	5/1	講義	言語障害児、体制作り	
5	5/1	講義	言語障害児、体制作り	
6	5/8	講義	支援の方法、家族への支援	
7	5/8	講義	支援の方法、家族への支援	
8	5/15	講義	障害児のアセスメント①	
9	5/15	講義	障害児のアセスメント①	
10	5/22	講義	障害児のアセスメント②	
11	5/22	講義	障害児のアセスメント②	
12	5/29	講義	発達支援の技法①	
13	5/29	講義	発達支援の技法①	
14	6/5	講義	発達支援の技法②	
15	6/5	講義	発達支援の技法②	
16	12/2	試験		
準備学習 時間外学習			近大レポート課題+科目終末試験	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	子ども家庭支援の心理学 (Psychology of Child Family Support)		必修 選択	必修	年次	2	担当教員	富樫裕一
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 木曜・2限
教員の略歴	仙台医療福祉専門学校教員・近畿大学非常勤講師・宮城教育大学非常勤講師・幼稚園教諭							
授業の学習内容	人間のライフサイクルにおけるそれぞれの発達の特徴や課題を明らかにするとともに、その中での家族、家庭の意義と機能の変化について理解する。							
到達目標	家族、家庭における機能の変化と問題点について理解し、そのための支援の方法について考えられるようにする。							
評価方法と基準	レポート、科目終末試験 100% 出席必須							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9/27	講義	第一講 乳児期の発達	
2	9/27	講義	第二講 幼児期の発達	
3	10/4	オンライン	第三講 学童期の発達	
4	10/4	オンライン	第四講 青年期の発達	
5	10/11	オンライン	第五講 第六講 成人、老年期	
6	10/11	オンライン	第七講 家族・家庭の意義と機能	
7	11/1	講義	第八講 家族関係・親子関係の理解	
8	11/1	講義	第九講 子育ての経験と親としての育ち	
9	11/8	講義	第十講 子育てを取り巻く社会的状況	
10	11/8	講義	第十一講 ライフコースと仕事・子育て	
11	11/15	講義	第十二講 多様な家庭とその理解	
12	11/15	講義	第十三講 特別な配慮を要する家庭	
13	11/22	講義	第十四講 子どもの生活・生育環境	
14	11/22	講義	第十五講 子どものこころの健康	
15	11/29	講義	まとめ	
16	2/3	試験		
準備学習 時間外学習			近大レポート課題+科目終末試験	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	教育相談 (Educational Counseling)		必修 選択	必修	年次	2	担当教員	富樫裕一
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
教員の略歴	仙台医療福祉専門学校教員・近畿大学非常勤講師・宮城教育大学非常勤講師・幼稚園教諭							
授業の学習内容	カウンセリング理論について知り、その理論をもとに様々なカウンセリング技法の方法について知る。また子ども及び保護者とのかかわりの中で具体的な方法を知る。							
到達目標	カウンセリング理論及び技法を知ることにより、子どもや保護者とのかかわりの中で具体的な方法を知る。							
評価方法と基準	レポート、科目終末試験:100% 出席必須							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/12	講義	第一章 より良い子育て支援のために	
2	4/12	講義	第二章 カウンセリング理論①	
3	4/13	講義	第二章 カウンセリング理論②精神分析	
4	4/19	講義	第二章 カウンセリング理論③アドラー	
5	4/19	講義	第二章 カウンセリング理論④ユング、交流	
6	4/20	講義	第二章 カウンセリング理論⑤行動論理、ブリーフ 第三章①	
7	4/26	講義	第三章②カウンセリング技法	
8	4/26	講義	第四章 日常の保護者との関わり方①	
9	4/27	講義	第四章 日常の保護者との関わり方②	
10	5/11	講義	第五章 養育困難を抱える保護者支援①	
11	5/18	講義	第五章 養育困難を抱える保護者支援②	
12	6/12	講義	第六章 障害のある子どもの保護者支援 第七章①	
13	6/22	講義	第七章 精神疾患の疑いのある保護者の理解②	
14	6/28	演習	総合的な観点で調べる	
15	6/29	講義	まとめ	
16	12/2	試験		
準備学習 時間外学習			近大レポート課題+科目終末試験	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	ピアノ実技 (Piano practical skill)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	富樫範子
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 4	開講区分	通年
教員の略歴	(公)音楽の力による復興センター東北歌カフェピアノ担当						
授業の学習内容	子ども向けの歌の簡易伴奏法や、保育実践において必要な技術を習得する。						
到達目標	習熟した音楽技術を用いて音楽性を高める努力をしつつ、保育現場において子ども達の音楽活動を適切に導くために必要な知識や技術を習得する。						
評価方法と基準	授業の受講姿勢(20%) 課題の到達度(40%) 実技試験(40%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/10	演習	オリエンテーション(授業の進め方の説明)	歌う、弾くの反復練習
2	4/24	演習	指定曲のピアノ演奏、季節・生活・こどもの歌の弾き歌い	歌う、弾くの反復練習
3	5/15	演習	指定曲のピアノ演奏、季節・生活・こどもの歌の弾き歌い	歌う、弾くの反復練習
4	5/22	演習	指定曲のピアノ演奏、季節・生活・こどもの歌の弾き歌い	歌う、弾くの反復練習
5	5/29	演習	指定曲のピアノ演奏、季節・生活・こどもの歌の弾き歌い	歌う、弾くの反復練習
6	6/5	演習	指定曲のピアノ演奏、季節・生活・こどもの歌の弾き歌い	歌う、弾くの反復練習
7	6/19	演習	指定曲のピアノ演奏、季節・生活・こどもの歌の弾き歌い	歌う、弾くの反復練習
8	6/26	演習	保育所実習課題曲の準備	歌う、弾くの反復練習
9	12/4	演習	保育所実習課題曲の準備	歌う、弾くの反復練習
10	12/11	演習	保育所実習課題曲の準備	歌う、弾くの反復練習
11	12/18	演習	実習のまとめ	歌う、弾くの反復練習
12	1/15	演習	実技試験の準備	歌う、弾くの反復練習
13	1/22	演習	実技試験の準備	歌う、弾くの反復練習
14	1/29	演習	実技試験の準備	歌う、弾くの反復練習
15	2/5	演習	試験	歌う、弾くの反復練習
16				
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 こどものうた100、子どものための音楽表現技術など				

科目名 (英)	教材研究・製作 (Materials Research and Production)		必修 選択	必修	年次	2	担当教員	平山淑希
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	通年 (木曜4限)
教員の略歴	仙台医健・スポーツ専門学校専任教員							
授業の学習内容	<p>少子化、都市化、ICT化など、多様な社会の変化に伴い、子ども達を取り巻く生活環境は大きく変わっている。その様な現代社会において、保育・幼児教育を行う際に教材をどの様に捉えるか、あるいは考えていくか、この力を身に着けることは非常に重要である。</p> <p>本講義では、児童文化財的視点と、現代社会の変遷の観点から多面的に教材研究の意義と目的を捉え、そこから活動の立案と実践をする力を身に着けていくこととする。</p>							
到達目標	<p>①子どもにとっての「教材」とは何かを知り、それを活動に展開する方法を知る。</p> <p>②教材を駆使した活動の立案と実践が出来るようになる。</p>							
評価方法と基準	<p>試験(50%)平常点(50%)</p> <p>・試験では、教材の完成度はもちろん、言葉遣いや態度等、「子どもの前で実際に使えるかどうか」を基準として評価する。</p> <p>・平常点は、保育・スポーツ業界はチームでの活動がメインであることから、個人の努力と、他者との協同に焦点をあて評価する。</p>							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/13	講義	児童文化・児童文化財概論について学ぶ。	
2	4/20	演習	保育教材の実践からその方法を学ぶ。	
3	4/27	演習	保育教材の実践について考える。	絵本、紙芝居の練習。
4	5/11	講義	保育教材を制作する。	教材研究適宜 (エブロンシアター、パネルシアター等)
5	5/18	講義	保育教材を制作する。	教材研究適宜 (エブロンシアター、パネルシアター等)
6	5/25	演習	保育教材を実践する。	発表に使う教材の準備。
7	6/8	演習	教材研究とその準備を行う。	
8	6/15	演習	教材研究とその準備を行う。	
9	6/22	演習	現場での実践について考える。	6/19(月)の振り返りを基に考える(レポート)
10	11/2	演習	多様な教材について考える。	レポート課題(実習を通しての感想)
11	11/9	演習	多様な教材の活用について考える。	課題の進行度合いより適宜設定。
12	11/16	演習	発表準備をする。	課題の進行度合いより適宜設定。
13	11/30	演習	準備及び練習をする。	課題の進行度合いより適宜設定。
14	12/7	演習	準備及び練習をする。	課題の進行度合いより適宜設定。
15	12/14	演習	発表を実演する。	振り返りシート(評価表)への記入。
準備学習 時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	実習対策講座 (Pracyice Pre-)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	奥山栄子
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	時間 (単位)	開講区分 曜日・時限	通年
教員の略歴	専門学校講師5年, 仙台市内の保育園園長3年, 短期大学講師7年						
授業の学習内容	①保育・教育実習に臨むにあたり必要な準備(保育に関する知識・技術・実践等)を整える。 ②保育実習・教育実習と密接に関連しながら、保育・教育について総合的に理解する。 ③保育現場において実習生に必要とされる知識や技術を習得し、実習で実践できる力を身に付ける。 以上を踏まえ、本授業においては、保育実習Ⅰ(保育所)および教育実習Ⅰに向け、実習に向けての心構えや態度、実習日誌や保育指導案の書き方、保育技術(作成・演習等)、実習後の振り返り等について、保育現場レベルでの指導を行う。						
到達目標	①保育実習Ⅰおよび教育実習Ⅰの目標を達成するために必要な事前準備を整え、保育者の役割と専門性について具体的に理解する。 ②保育現場で求められる保育技術を習得する。 ③実習経験を振り返り、今後の実習に向けて自己の課題を持つ。						
評価方法と基準	①各授業への取り組み・態度・振り返り等 40% ②課題(実習日誌・保育指導案・教材・まとめ等)の作成・提出・内容等 40% ③演習発表(教材研究・準備・実践・振り返り等) 20% 上記の各項目が50%以上、かつ総合して60点以上を単位認定とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月25日	講義	保育所実習の意義と目的を理解できる	教科書やプリントから実習のイメージをまとめること
2	6月1日	講義・演習	実習施設について理解できる	プリントなどから実習施設についてまとめること
3	6月8日	講義・演習	部分実習を理解する(設定保育と保育指導案)	教科書やプリントから授業内容を復習すること
4	6月15日	演習	保育演習技術を習得することができる	手遊び・絵本・紙芝居等の練習をすること
5	6月22日	講義・演習	乳幼児の発達と保育内容を理解できる	教科書やプリントから授業内容を復習すること
6	6月29日	講義・演習	実習日誌の書き方を理解できる(保育所)	実習日誌の書き方を復習すること
7	7月6日	講義・演習	実習日誌の書き方を理解できる(発達段階との関係)	乳幼児の発達と関連させながら日誌を書けるようにすること
8	7月13日	講義・演習 (オンライン)	実習前の準備を整えることができる	実習に向けての準備をする
9	9月7日	講義・演習	教育実習の意義と目的を理解できる	教科書やプリントから実習のイメージをまとめること
10	9月14日	講義	3歳以上児の発達と保育内容を理解できる	教科書やプリントから授業内容を復習すること
11	9月21日	講義・演習	実習日誌の書き方を理解できる(幼稚園Ⅰ)	実習日誌の書き方の基本を復習すること
12	9月28日	講義・演習	部分実習の指導案を立案することができる	指導案を完成させ、模擬保育の練習をすること
13	10月5日	演習	保育指導案を実践し理解することができる(部分実習)	模擬保育演習の準備・練習・振り返りをする
14	10月12日	講義・演習 (オンライン)	実習前の準備を整えることができる	教育実習Ⅰに向けての準備をする
15	11月2日	演習	実習経験を仲間と共有し自己の課題を見出すことができる	3年次の実習に向けて自己の課題を見出すこと
準備学習 時間外学習			指示された課題のみならず、関連する科目・内容を振り返り、自主的に実習準備を進めること	
【使用教科書・教材・参考書】 小櫃智子編著『幼稚園・保育所・認定こども園 パーフェクトガイド』わかば社, 2017年 『幼稚園教育要領(文部科学省)・保育所保育指針(厚生労働省)・幼保連携型認定こども園教育・保育要領(総務省)』フレーベル社, 2018年				

科目名 (英)	音楽表現技術	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	富樫範子
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期・集中
教員の略歴	(公)音楽の力による復興センター東北歌カフェピアノ担当						
授業の学習内容	保育現場で活かすことのできる音楽技術の習得						
到達目標	保育者として子どもに歌い聴かせるための声楽の基礎を学ぶとともに、基本歴な音楽理論を理解する。弾き歌いに必要な、鍵盤楽器の基礎を身につける。						
評価方法と基準	授業の受講姿勢(20%) 課題の到達度(40%) 実技試験(40%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	12/13	演習	歌う、聴く、弾くの活動の確認	内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
2	12/13	演習	記録表 ピアノ①の確認	内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
3	12/13	演習	記録表 声楽の設題1・2・3	内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
4	12/13	演習	記録表 ピアノ②の確認	内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
5	12/13	演習	記録表 ピアノ②の確認	内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
6	12/20	演習	記録表 声楽 設題4	内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
7	12/20	演習	記録表 声楽 設題5	内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
8	12/20	演習	記録表 声楽 設題6	内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
9	12/20	演習	試験課題発表	内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
10	12/20	演習	実技試験	内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
11	/			
12	/			
13	/			
14	/			
15	/			
準備学習 時間外学習			記録表 ピアノ①②が終了していること	
【使用教科書・教材・参考書】 音楽 ピアノ教本 声楽教本				

科目名 (英)	教育実習事前事後指導 (Teaching Practice Pre-Post Guidance)		必修 選択	必修	年次	2	担当教員	富樫 裕一
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	集中
教員の略歴	仙台医療福祉専門学校教員・近大非常勤講師・宮城教育大学非常勤講師・幼稚園教諭							
授業の学習内容	幼稚園実習に向けた心構えや準備に関する基礎知識を理解し、実習の目的や意義を確認する。							
到達目標	ロールプレイを通して、みんなの前で自己紹介ができるようになる。 幼稚園と保育所の1日の流れがわかる。 実習の目的や意義について確認する。							
評価方法と基準	実技(60%)レポート(30%)授業態度(10%)							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	8/31	講義	幼稚園実習の目的意義を知る	学習内容を理解する
2	8/31	講義	自己紹介のロールプレイを行う	学習内容を理解する
3	8/31	講義	幼稚園の1日の流れを知る	学習内容を理解する
4	8/31	講義	実習の目的や意義を知る	学習内容を理解する
5	8/31	講義	実習日誌の記録について理解する	学習内容を理解する
6	/			
7	/			
8	/			
9	/			
10	/			
11	/			
12	/			
13	/			
14	/			
15	/			
16	/			
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
国語辞典				

科目名 (英)	子どもの食と栄養 (スクーリング)	必修 選択	必修・選択必修・選択等	年次	2年	担当教員	千石 祐子
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 (単位)	10	開講区分	前期・後期・通 年・集中等
教員の略歴							
授業の学習内 容	保育者として小児に適切な食環境を提供出来る様、各時期の特性や栄養について理解し、適切な献立を考え調理出来る事を目指す。						
到達目標	小児の発達・発育の特性、栄養に関する基本的な知識を踏まえ、小児期における心身の発達段階に応じた栄養法、食生活、集団給食(保育所給食)、食育の重要性を理解する。						
評価方法と基準	試験 50% レポート 30% 授業態度 20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/	講義	乳幼児の授乳栄養について	
2	/	実習	人工栄養の講義と調乳実習	P78~P80を読んでくる
3	/	講義	離乳食の意義と栄養について 離乳食の具体的な進め方について	配布したプリントの内容を復習する
4	/	実習	離乳食実習 だしのとり方・離乳食初期~完了まで	離乳食の内容を考える
5	/	実習	離乳食初期~完了期までを作り形態、量について確認する	
6	/	講義	幼児期の心身の発達と食生活について考える	幼児期の心身の発達と食生活の関わり方について
7	/	実習	幼児食実習 (バランスの良いお弁当)	
8	/	実習	幼児食実習 (バランスの良いお弁当)	
9	/	講義	アレルギー対応食事と間食について	アレルギーに関する資料を復習する
10	/	演習	離乳期・幼児の食事についてレポートにまとめる	
11	/			
12	/			
13	/			
14	/			
15	/			
16	/			
【使用教科書・教材・参考書】				
子どもの食と栄養 二見 大介 高橋 陽 編者「厚生労働省」授乳、離乳の支援ガイド」2007				

科目名 (英)	子育て支援 (Childcare Consultation Support)		必修 選択	必修	年次	2	担当教員	飯島 典子
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15(1)	開講区分	集中
教員の略歴	東北大学大学院教育学研究科総合教育科学専攻博士課程 短期大学/専門学校講師10年以上							
授業の学習内容	保育士による保育相談支援のあり方について学ぶ。保育士による保育相談支援の意義を十分理解し、保護者との信頼関係の重要性や受容的かわり、子どもの成長の喜びの共有、秘密保持等、支援の基本を学ぶ。保護者とともに毎日子どもを見守る保育士だからこそ可能な支援を考える。さらに、相談内容や支援計画の立案や記録、評価等保育相談支援の実際を学ぶ。							
到達目標	保育士による保育相談支援の意義と原則について理解する。 保護者支援の実際を理解する。							
評価方法と基準	レポート80% 授業内課題20%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	1月20日	講義	相談支援とは何か理解する	学んだことを理解する
2	1月20日	講義	カウンセリングとカウンセリングマインドについて理解する	学んだことを理解する
3	1月20日	講義	開発的カウンセリングについて理解する	学んだことを理解する
4	1月20日	講義	保育相談支援と心理療法について理解する	学んだことを理解する
5	1月20日	講義	パーソナリティについて理解する	学んだことを理解する
6	1月27日	講義	発達と保育相談について理解する	学んだことを理解する
7	1月27日	講義	発達障害と保育相談について理解する	学んだことを理解する
8	1月27日	講義	心の問題の種類と保育相談について理解する	学んだことを理解する
9	1月27日	講義	保護者に対する支援について理解する	学んだことを理解する
10	1月27日	講義	関連機関との連携について理解する	学んだことを理解する
11				
12				
13				
14				
15				
16				
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	社会的養護Ⅱ (Childcare Consultation Support)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	鑑 さやか
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15(1)	開講区分	集中
教員の略歴	東北文化学園大学准教授						
授業の学習内容	社会的養護に関わる相談援助の方法・技法について理解し、その実践について理解できる。						
到達目標	社会的養護に関わる相談援助の方法・技法について理解し、その実践について理解できる。						
評価方法と基準	グループワークへの参加(30%)、ふり返しシート(30%)、レポート(40%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9月2日	講義	社会的養護の実践と保育士について学ぶ	社会的養護の教科書を復習する。振り返りシートを作成する。
2	9月2日	講義	社会的養護を必要とする子どもの理解と権利について学ぶ	振り返りシートを作成する
3	9月2日	講義	施設養護のプロセスについて理解する	振り返りシートを作成する
4	9月2日	講義	記録および評価について理解する	振り返りシートを作成する
5	9月2日	講義	施設への入所前後の支援を考える	振り返りシートを作成する
6	9月5日	講義	個別支援計画を作成する	前回のプリントを復習する。振り返りシートを作成する。
7	9月5日	講義	日常生活支援を考える	振り返りシートを作成する
8	9月5日	講義	治療的支援を考える	振り返りシートを作成する
9	9月5日	講義	施設養護の自立支援について理解する	振り返りシートを作成する
10	9月5日	講義	家庭養護へ向けての支援を理解する	全体を振り返りレポートを作成する
11				
12				
13				
14				
15				
準備学習 時間外学習			集中講義科目であるため、各回の授業にて必要な学習を提示する。	
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名 (英)	障害児保育スクーリング (Disabled Children Childcare)		必修 選択	必修	年次	2	担当教員	富樫裕一
	学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	10(1)	開講区分	集中
教員の略歴	宮城教育大学大学院修士課程修了、昭和52年～平成7年幼稚園教諭として勤務、その後専門学校専任教員を務め、大学・専門学校非常勤講師							
授業の学習内容	子どもの心身・脳の発達、知的・身体的障害について理解を深め、保育的援助について学ぶ。							
到達目標	子どもの心身・脳の発達、知的・身体的障害について理解を深め、特別な支援について理解する。							
評価方法と基準	出席、授業態度、ならびに筆記試験結果を総合して評価する							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	6月17日	講義	知的障害・肢体不自由について理解する	
2	6月17日	講義	聴覚障害・視覚障害について理解する	
3	6月17日	講義	重度重複障害について理解する	
4	6月17日	講義	発達障害について理解する	
5	6月17日	講義	障害児の発達検査について理解する	
6	6月24日	講義	保護者の障害受容と展望について理解する	
7	6月24日	講義	関係機関との連携について理解する	
8	6月24日	講義	幼児期体験と障害児の育ちについて理解する	
9	6月24日	講義	幼児期体験と障害児の育ちについて理解する	
10	6月24日	講義	幼児期体験と障害児の育ちについて理解する	
11				
12				
13				
14				
15				
16				
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	保育実習事前事後指導 I (保育所)	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	2年	担当教員	前田
	(Childcare Training Pre-Post Guidance I Nursery)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15コマ (1単位)	開講区分	集中
学科・コース	プロスポーツトレーナー科						
教員の略歴	①認可保育園保育士(19年) ②尚綱学院大学子ども学類専任教員(保育実習指導歴8年)						
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習 I (保育所)をより良い経験とするため、実習の意義や基本姿勢、実習で求められる実習日誌や指導案の基本的な書き方、設定保育における保育の進め方等を実践的に展開し、実習準備を進めていく。 ・実習後は保育実習 I での経験をより深めるため、事後課題をまとめる。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習の意義や目的を理解し、望ましい態度や心構えを身に付ける。 ・保育実習に必要な知識や技術等を習得する。 ・実習の総括と自己評価から、今後の実習に向けての課題を明確にする。 						
評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・各回の授業への取り組み・態度・振り返り等 40% ・課題(実習日誌・保育指導案等)の作成・提出・内容等 40% ・実習事後レポート 20% 上記の各項目を総合して60点以上を単位認定とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	保育所実習 I の意義・目的・目標を理解することができる	テキストの該当する箇所を予習すること
2	5月20日	講義・演習	実習日誌の意義や目的、書き方を理解することができる	テキストの該当する箇所を予習すること
3	5月20日	講義・演習	設定保育(部分実習)について、実践的に理解することができる	部分実習の内容を考えておくこと
4	5月20日	講義・演習	保育指導案の記載内容を理解し、立案することができる	テキストの該当する箇所を予習すること
5	5月20日	講義・演習	実習事前準備を整え、実習後の課題について理解することができる	実習前の注意事項を確認しておくこと
準備学習 時間外学習			指示された課題のみならず、関連する科目・内容を振り返り、自主的に実習準備を進めること	
【使用教科書・教材・参考書】				
<ul style="list-style-type: none"> ・小櫃智子編著『幼稚園・保育所・認定こども園実習 パーフェクトガイド』わかば社, 2017年 ・片山紀子編著『新版 保育実習・教育実習の設定保育』朱鷺書房, 2013年 ・『幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領』文部科学省・厚生労働省・総務省, フレーベル社, 2018年 				

科目名 (英)	幼児と健康 (Infant and the environment)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	佐藤 一樹
学科・コース	プロスポーツトレーナー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15(1)	開講区分	集中
教員の略歴	上級障がい者スポーツ指導員、障がい者フライングディスク第1種審判員						
授業の学習内容	幼児期に必要な運動遊びのレポートリーを習得し、指導に必要な保育技術を学ぶ。						
到達目標	運動あそびの支援方法を活用できるように実践力を身に身に付ける 子ども意欲を引き出す環境構成について理解を深める 運動時に起こりうるリスクについての対応力を身に付ける						
評価方法と基準	レポート80% 授業内課題20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	12月10日	演習	体育の意義、役割を理解し、内容および方法を理解する。	学習内容を理解する
2	12月10日	演習	おにごっこが発達段階に応じた運動あそびの展開方法について理解を深める	学習内容を理解する
3	12月10日	演習	ドッチボールの発達段階に応じた運動あそびの展開方法について理解を深める	学習内容を理解する
4	12月10日	演習	環境設定とはどのようなものか話し合い、理解を深める	学習内容を理解する
5	12月10日	演習	様々な運動あそびを行う上でどのようなリスクマネジメントが必要か考察をする	学習内容を理解する
6	12月17日	演習	移動遊具を使った運動あそびを行う際の補助の方法について理解を深める	学習内容を理解する
7	12月17日	演習	グループ毎に指導案を作成する	学習内容を理解する
8	12月17日	演習	グループ毎に作成した指導案の実践発表をする	学習内容を理解する
9	12月17日	演習	グループ毎に作成した指導案の実践発表をする	学習内容を理解する
10	12月17日	演習	運動あそびの実践についてグループで振り返る	学習内容を理解する
11				
12				
13				
14				
15				
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
適宜資料を配布。				